

# ユニット8

## 重さとかさを理解しよう

### 1 このユニットのねらい

- ポンドで物体の重さを表現し、重さのたし算やひき算を使って周りのものの問題を解きます。
- さまざまなボトル容器のかさを表現し、リットルを単位としてかさをたしたりひいたりして状況の問題を解きます。

### 2 学習の流れと範囲

#### 1学年

##### ユニット10：算数の応用

- 長さや広さを比べましょう
- かさを比べましょう
- 重さを比べましょう
- 硬貨やそれと同じようなものを使ってみましょう
- 時計と時間や分を理解しましょう

#### 2学年

##### ユニット8：重さやかさの単位を学びましょう

- 物の重さを比べましょう
- 容器のかさを比べましょう

#### 3学年

##### ユニット7：算数の応用

- 長さの単位
- かさの単位
- 重さの単位
- 時間の単位

### 3 このユニットの構成

レッスン	授業	タイトル
1 重さを比べましょう 学びましょう	1	ものの重さを比べましょう
	2	ものの重さの単位としてポンドを
	3	ポンドで重さのたし算やひき算をしましょう
2 比べましょう 容器の かさ	1	容器のかさを比べましょう
	2	容器のかさの単位としてリットルを学びましょう
	3	リットルで容器のかさをたしたりひいたりしましょう
	1	ユニットテスト

授業総数

+ ユニットテスト

6

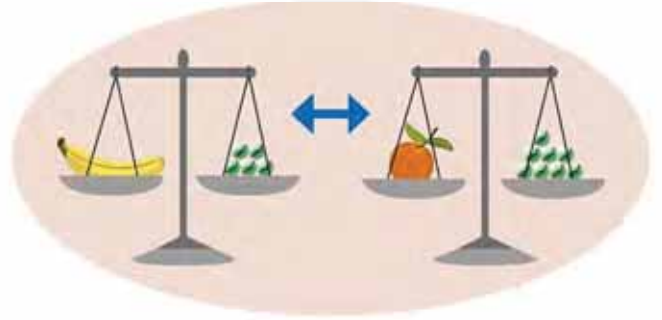
## 4 各レッスンの要点

### レッスン1

#### ものの重さを比べましょう（全3コマ）

1年次の復習としてはかりを使い、ものの重さを直接比べることから始めます。その後、間接的な方法で2つのものの重さを比べる方法が紹介されます。

**間接的な方法：**任意の単位（ここではビー玉）を使ってものの重さを量った後に、その数を比較します。



先ほどのアイデアにより、もの間で比較する場合に同じものを重さの単位として使う必要を理解し、こうして一般的に使われる計測単位である「ポンド」が導入されます。その後、ポンド単位でたし算やひき算を行い、問題を解きます。この段階で使う唯一の重さの単位は、ポンドです。

### レッスン2

#### 容器のかさを比べましょう（全3コマ）

前回の課と同じ方法で、直接的な方法で容器2つのかさの比較を復習し、その後間接的な方法で容器2つのかさの比較が行われ、これにより標準的なかさの単位を決める必要が理解できます。使われる計測単位は、一般的な計測単位としてはリットル、そして一般的ではない計測単位としてはボトルです。最後に、リットルで記述された容器のかさで、たし算やひき算が行われます。



# レッスン 1 ものの重さを比べましょう

## 1.1 ものの重さを比べましょう

### 復習しよう

一番重い人かものにマークを入れましょう。

a.

マリオ



ベアトリス

b.

クジャク



魚

同じ重さ



砂糖

小麦



### ① 考えてみよう

ビスケットの重さは、ビー玉3個と同じです。  
魚の重さは、塩入りの袋3つと同じです。



はかりは、測る単位を使ってものの重さを量ったり比べたりするのに役に立ちます。

この問題を解くために、ビー玉10個が塩入りの袋1つと同じ重さだと考えましょう。



- 比べると、ビスケットと魚の重さは同じですか、それとも違いますか？
- どちらのほうが重いかわかるには、どうしますか？どちらが重いかわかりましょう。

### 答えてみよう

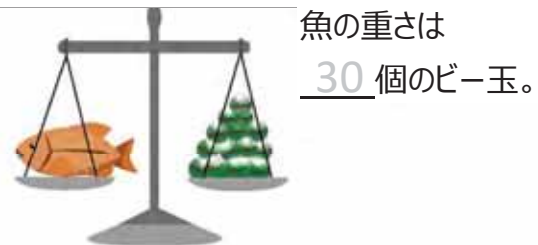
- 違うものを比べているので、重さが同じか違うかを言うことはできません。
- 同じものを重さの単位として使います。この場合はビー玉を使います。



マリオ



ビスケットの重さは  
3 個のビー玉。



魚の重さは  
30 個のビー玉。

魚のほうがビスケットよりも重いです。

### 理解しよう

ものを比べる場合、測る単位として同じものを使わなければなりません。

## 2 解いてみよう

はかりを見て、ボックスにある白のスペースを埋めましょう。



単位：  (ビー玉)

バナナの重さ： 15個のビー玉。

みかんの重量： 6個のビー玉。

より多いものをまるで囲みましょう。

パイナップル                      キャベツ



単位：  (ビー玉)

バナナの重さ： 5個のビー玉。

みかんの重量： 8個のビー玉。

より多いものをまるで囲みましょう。

バナナ                      みかん

## 家で解いてみよう

はかりを見て、ボックスにある白のスペースを埋めましょう。



単位：  (塩入りの袋)

スイカの重さ： 3袋の塩入り袋。

ジャガイモの入った袋の重さ： 2袋の塩入り袋。

より多いものをまるで囲みましょう。

スイカ                      (塩入りの袋)



単位：  (ビー玉)

ブドウの重さ： 15個のビー玉。

イチゴの重さ： 12個のビー玉。

より多いものをまるで囲みましょう。

ブドウ                      イチゴ

おうちの人サイン：



# レッスン 1

## 1.2 重さの単位としてポンドを学びましょう

### ① 考えてみよう

塩入りの袋を、いんげん豆入りの袋と比べます。



- はかりにはどんな特徴がありますか？
- 針が示す数字はどうやって読み取りますか？
- はかりを見て答えましょう。
  - 塩入り袋の重さはどれだけですか？
  - いんげん豆袋の重さはどれだけですか？

### 答えてみよう

- はかりには針と目盛りがあり、一番長い目盛りには数字が書かれています。
- 計測単位として「ポンド」が存在します。  
目盛りは、数字が示すポンドの数を表現しています。  
数字の後で、「ポンド」という単語を付けます。
- 最初の場合には針が1を指しているので、塩入り袋の重さは1ポンド、1 lbです。



アナ

次の場合には針が5を指しているので、いんげん豆入り袋の重さは5ポンド、5 lbです。

### ② 理解しよう

計測単位の1つがポンドで、lbと書かれます。



### 3 解いてみよう

1. はかりを観察して、食べものそれぞれの重さを書きましょう。

a.



4 lb

b.



2 lb

c.



10 lb

d.



8 lb

2. 対応する形ではかりの針を書きましょう。

5 lb



3. 市場でポンド建てで売られている食べもの3つを書きましょう。

砂糖

塩

米

### 家で解いてみよう

1. はかりを観察して、食べものそれぞれの重さを書きましょう。

a.



3 lb

b.



7 lb

c.



5 lb

d.



6 lb

2. 対応する形ではかりの針を書きましょう。

2 lb



3. スーパーでポンド建てで売られている食べもの3つを書きましょう。おうちの人と相談しましょう。

いんげん豆

とうもろこし

肉

おうちの人サイン：

## 達成の目安：

1.2 ポンドを重さの単位として、はかりのものの重さを読み取り書きます。

**ねらい：**ポンドを重さの単位として使い、はかりが示す内容を解釈し、この単位で重さが量られる日常生活のものを理解します。

**重要なポイント：**①では、重さの単位としてポンドを導入できる状況が紹介されます。前の授業で紹介されたはかりを見ることに児童が慣れていることから、児童が質問に答えられるようにはかりを読み取るよう頼むこともできます。a.では、（針や目盛りの数字といった）共通点を強調することで、この種類のはかりの特徴を見つけ出します。b.では、はかりでlbが現れることに児童が気づいたら、「ポンド」という測定単位であり、針が示す数字はポンド建ての重さであることを伝えます。以前のことを使うと、c.に回答すべく、それぞれのはかりの針が示す数字を観察することになります。

②では、分析しようでの実行内容が終わり、ポンドが重さの単位であり、その略称はlbであることが強調されます。

③を発展すべく1.では、はかりの針が示す数字を観察してももの重さがポンドで測られ、単位をつける必要があることが思い出されます。2.ではポンド建てで重さが伝えられ、児童は伝えられた重さを示す矢印を描く必要があります。3.では例が示され、児童が別のものを書くことができることが示されるため、実際にはポンドで測られることを保証しなければなりません。宿題の問題が、授業で行われるものと似たものになっています。

## メモ：

---

---

---

---

## 日付：

## 授業：1.2

- Ⓐ はかりを見て答えましょう。
- はかりにはどんな特徴がありますか？
  - 針が示す数字はどうやって読み取りますか？
  - 塩入り袋の重さはどれだけですか？  
いんげん豆袋の重さはどれだけですか？

- Ⓒ
- はかりには、針と数字付きの目盛りがあります。
  - 単位  
1ポンドは1 lbと書きます。
  - 塩入りの袋 → 1 lb  
いんげん豆の袋 → 5 lb

- Ⓓ
- |          |         |
|----------|---------|
| a. 4 lb  | b. 2 lb |
| c. 10 lb | d. 8 lb |



宿題：91ページ

# レッスン 1

## 1.3 ポンドで重さのたし算やひき算をしましょう

### 考えてみよう

よく見て答えましょう。  
それぞれの問題で、**式**を書きましょう。

- チーズは全部で何ポンドありますか？
- 古く硬いチーズは、やわらかく硬いチーズよりも何ポンド多くありますか？



### 答えてみよう

a. 式 :  $25 \text{ lb} + 9 \text{ lb}$

b. 式 :  $25 \text{ lb} - 9 \text{ lb}$



カルロス

	2	5
+		9
	<sup>①</sup> 3	4

単位の下には単位を、十の位の下には十の位を書くことを思い出しましょう。



	<sup>①</sup> 2	<sup>①</sup> 5
-		9
	1	6

答え : 34 lb

答え : 16 lb

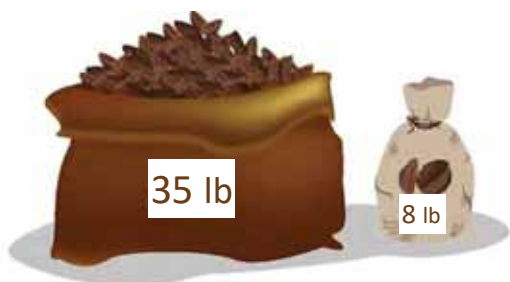
### 理解しよう

重さの単位がポンドだと、たしたりひいたりできます。

### 解いてみよう

- そこにあるコーヒーの合計量を測りましょう。**式**を書きます。

式 : 35 lb + 8 lb



	3	5
+		8
	<sup>①</sup> 4	3

答え : 43 lb

2. 袋から8 lb取り出したら、トウモロコシは何ポンド残るでしょうか？

式： 35 lb - 8 lb



	<sup>2</sup> 3	<sup>0</sup> 5
-		8
	2	7

答え： 27 lb

★やってみよう

1. カルメンの体重は去年132 lbで、今年は156 lbになりました。何ポンド太りましたか？

式： 156 lb - 132 lb

答え： 24 lb

2. ベアトリスは赤いインゲン豆を30 lb、そして白いインゲン豆を10 lb買いました。2種類のインゲン豆を何ポンド買いましたか？

式： 30 lb + 10 lb

答え： 40 lb

家で解いてみよう

1. 箱の総重量はいくつですか？式を書きます。

式： 46 lb + 8 lb



	4	6
+		8
	<sup>0</sup> 5	4

答え： 54 lb

2. 小さな箱よりも大きな箱には、何ポンド多く小麦粉が入っていますか？式を書きます。

式： 48 lb - 9 lb



	<sup>3</sup> 4	<sup>0</sup> 8
-		9
	3	9

答え： 39 lb

おうちの人のサイン：

### 達成の目安：

1.3 ポンドで記載された重さのたし算やひき算の問題を解きましょう。

**ねらい：** たし算やひき算を使って、ポンド建てのものの重さが含まれる環境で問題を解きます。

**重要なポイント：** 関連状況の問題を解くことが求められ、ここでは前の授業で紹介された単位(lb)を使ってものの重さを示す量をたしたりひいたりする必要があります。これを解くには、以下のステップを行う必要があります。

- 問題を読み、情報を抽出して式を書きます。
- データを正確に配置して（単位の下に単位を、10の位の下に10の位を）、縦形式の式で示される計算（たし算またはひき算）を行います。
- 結果を書いて、それぞれの場合に単位を付け加えます。

繰り上げのあるたし算や繰り下げのあるひき算は、ユニット 2やユニット 4で実施済みです。式には単位(lb)を含む必要があることに注意する必要がありますが、縦の式では数字の部分だけが考慮され、結果に重さの単位をつけることとなります。解いてみようや家で解いてみようの問題は、分析してみようと似たものになっています。

### メモ：

---

---

---

---

---

---

### 日付：

### 授業：1.3

- (A)** よく見て答えましょう。  
a. チーズは全部で何ポンドありますか？  
b. 古く硬いチーズはやわらかく硬いチーズよりも何ポンド多くありますか？

- (S)** a. 式：25 lb + 9 lb                      b. 式：25 lb - 9 lb

$$\begin{array}{r} 25 \\ + 9 \\ \hline 34 \end{array}$$

答え：34 lb.

$$\begin{array}{r} 25 \\ - 9 \\ \hline 16 \end{array}$$

答え：16 lb.

- (R)** 1. 式：35 lb + 8 lb

答え：43 lb.

$$\begin{array}{r} 35 \\ + 8 \\ \hline 43 \end{array}$$

2. 式：35 lb - 8 lb

答え：27 lb.

$$\begin{array}{r} 35 \\ - 8 \\ \hline 27 \end{array}$$

宿題：93ページ

# レッスン

# 2

## 容器のかさを比べましょう

### 2.1 容器のかさを比べましょう

#### 復習しよう

水が多いほうに丸をつけましょう。

a.



b.



c.

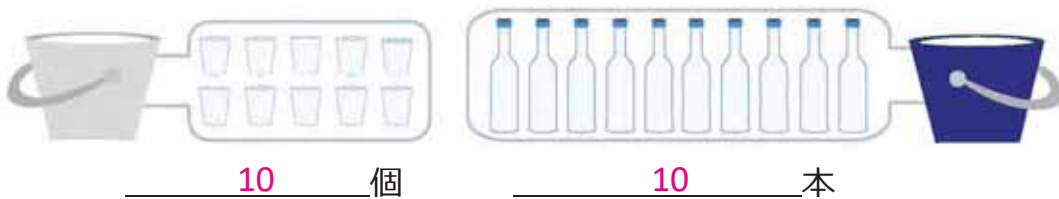


### ① 考えてみよう

ファンは牛2頭の乳しぼりをして、白い牛からしぼった牛乳で灰色のバケツを、そして茶色の牛からしぼった牛乳で青のバケツをいっぱいになりました。それぞれのバケツで、牛乳が入るコップとびんの数えてください。



この問題では、コップ2つにびん1本と同じ量の牛乳を入れることができると考えましょう。



- a. どちらの牛からより多く牛乳をしぼり取れますか?
- b. どちらの牛がより多くの牛乳を出していることを、どうやって知りますか?

### 答えてみよう

- a. コップとびんは大きさが違うので、牛乳の量が同じか違うか  
いうことはできません。
- b. 同じ容器を使います。コップを使うことができます。



カルメン



コップ 10 個分の牛乳が入ります。



コップ 20 個分の牛乳が入ります。

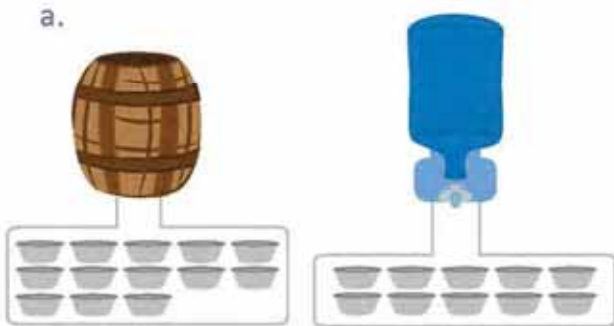
なので青いバケツには10個、灰色のバケツよりも多く入ります。  
このため、茶色の牛のほうが白い牛よりも牛乳がたくさんしぼれます。

### ② 理解しよう

容器に入る液体の量は、**かさ**と呼ばれます。  
容器のかさを比べるには、同じ計測単位を使う必要があります。

### 3 解いてみよう

絵を見て埋めて、ボックスにあるものについて答えましょう。



かさの単位： (たらい)

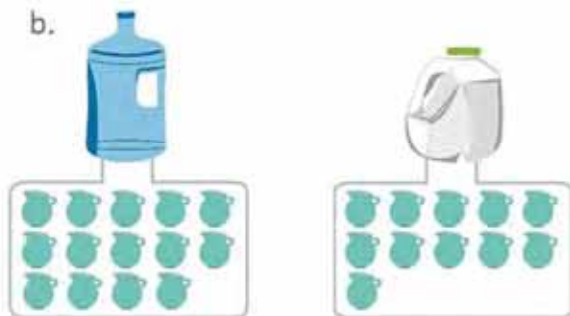
たるのかさ： 13 たらい。

タンクのかさ： 10 たらい。

より多いものをまるで囲みましょう。

たる

タンク



かさの単位： (水差し)

青いボトルのかさ： 14 水差し。

白いボトルのかさ： 11 水差し。

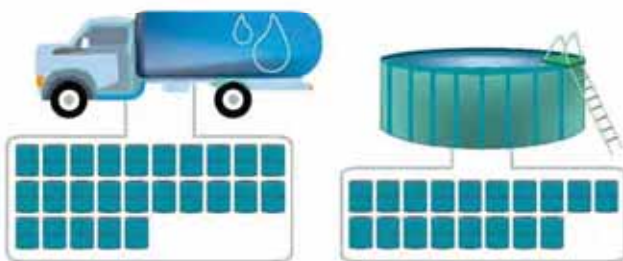
より多いものをまるで囲みましょう。

青いボトル

白いボトル

### 家で解いてみよう

1. 絵を見て埋めて、ボックスにあるものについて答えましょう。



かさの単位： (たる)

タンクローリーのかさ： 25 たる。

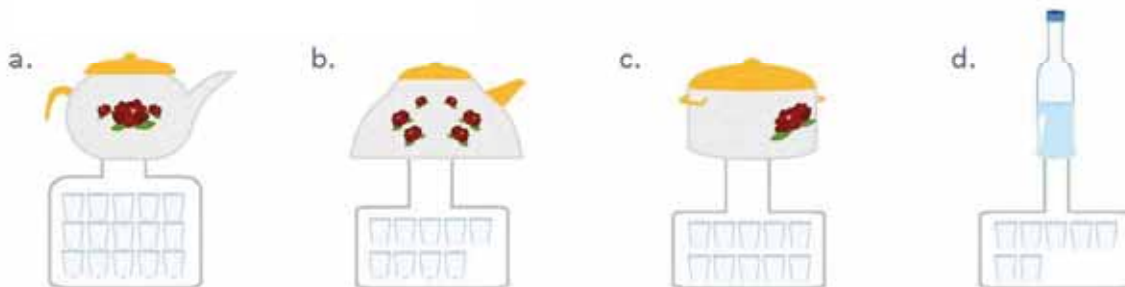
プールのかさ： 18 たる。

より多いものをまるで囲みましょう。

タンクローリー

プール

2. 大きいものから小さなものへと容器を並び替え、それぞれを示す文字を線の上に置きましょう。



大きい  a  ,  c  ,  b  ,  d  小さい

おうちの人のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

2.1 任意の単位を使って容器のかさを比べましょう。

**ねらい：** 間接的な形で容器のかさを比べて、標準的なかさの計測単位を樹立する必要性を理解します。

**重要なポイント：** 同じ容器2つのかさを直接比較することを思い出すことから始めて、水面の高さに従ってかさの多いほうを特定します。しかし、この授業では間接的な形でかさの比較を行おうとし、そのために①では、異なる単位（コップやびん）を使ってバケツのかさを比べる必要のある状況が紹介されます。a. では児童は、それぞれの場合別の容器を比べているので、かさが同じが違うかを言えないことを見通す必要があります。b. の場合、マスケットが示す同等性に気づく必要があります（びん1本のかさはコップ2つのかさと同じ）、そのため灰色のバケツのかさはコップ10個分、青のバケツはコップ20個分となります。

②ではかさの概念が定義され、前の問題から、容器2つのかさを間接的に比べるには、同じ計測単位を使う必要があるという結論が出されます。

③を発展させるべく児童は、提供された単位（たらいや水差し）に関して示される容器のかさを測定し、その後かさを比較し、一番かさの大きな容器にまるを付けます。

## メモ：

---

---

---

---

### 日付：

### 授業：2.1

Re 例 水が多いほうに丸をつけましょう。

a.



A それぞれのバケツに入るコップとびんの数をよく見て答えましょう。

- a. どちらの牛からより多く牛乳をしぼり取れますか？  
b. どちらの牛がより多くの牛乳を出していることを、どうやって知りますか？

S c. 決められません。

d. 同じ容器を使って比べます。

灰色のバケツ → コップ10個分の牛乳が入ります。

青いバケツ → コップ20個分の牛乳が入ります。

R a. よく見て答えましょう。

- たるのかさ：たらい13個分。
- タンクのかさ：たらい10個分。  
たるのほうがかさが大きいです。

b. よく見て答えましょう。

- 青いボトルのかさ：  
水差し14個。
- 白いボトルのかさ：  
水差し11個。  
青いびんのほうがかさが多いです。

宿題：95ページ



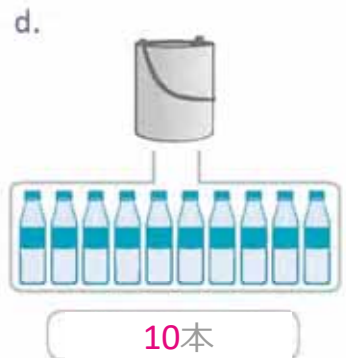
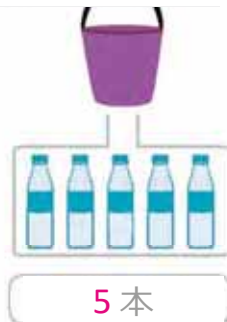
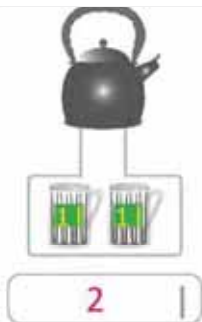
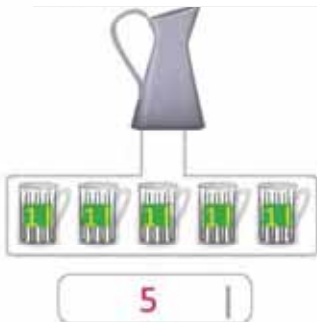


- 3 1リットルを同じかさの部分10個に分けると、それぞれが**デシリットル**という名前で知られることになります。  
**デシリットル**は、別のかさの単位です。1デシリットルは、1 dlと書くこともできます。



#### 4 解いてみよう

1. それぞれの容器のかさを見定めて、書きましょう。

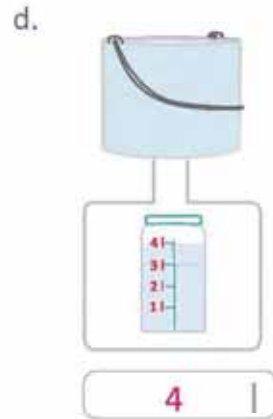
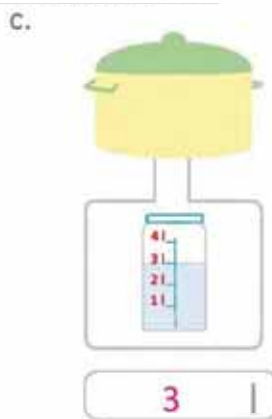


2. それぞれの容器のかさを見定めて、書きましょう。



#### 家で解いてみよう

1. それぞれの容器のかさを見定めて、書きましょう。



2. それぞれの容器のかさを見定めて、書きましょう。



おうちの人のサイン：

**達成の目安：**

2.2 リットルとびんを計測単位として容器のかさを表現しましょう。

**ねらい：**かさの計測単位としてリットルとびんを使って、容器の中にある液体の量を計測します。

**重要なポイント：**リットルとびんというかさの計測単位や、容器が持つ液体の量を使う方法の導入に向けた一連の活動が示されます。**①** は児童それぞれの容器のかさを量ることが求められ、前の授業で取り上げた「かさ」の概念を思い出し、その後「子どもが使うかさの単位は何?」と質問して、児童にはフアンが使うかさの単位はびんで、マリオはリットルであると結論付けさせます。マリオの場合には、液体の容量をリットルで示す目盛りのある容器に、液体を注ぎます。

**②** における活動の目的は、リットルのほうがびんよりもかさが大きいことを説明することで、この場合の解き方としては、1リットルの容器の液体をびんに入れるか、同じ容器にそれぞれの単位の液体を入れて直接比べるという、2つの方法があります。

**③** の場合にはデシリットルをかさの単位として紹介し、1リットルを同量の部分10個に分けます。**④** の1. ではさまざまな状況が紹介され、そこではいくつかの容器のかさが、その中に入るびんやリットルの数を数えて測定されます。2. 向けに、それぞれの容器のかさが、1 lを含む回数として提供され、たとえばa. では容器のかさは1 lの3倍、つまり3 lとなります。

**メモ：**

---



---



---

**日付：**

**授業：2.2**

- (A)** 「分析しましょう」の絵を見て答えましょう。  
 a. ファンの容器のかさはいくらですか?  
 b. マリオの容器のかさはいくらですか?

- (S)** a. 測定単位はびんです。  
 答え：ジュースのびん7本です。  
 b. 測定単位はリットルです。  
 答え：ジュース4リットルです。

- (Q)** リットルとびんは、どちらがかさが多いですか?  
 答え：リットル。

- (R)** 1. a. 5 l                      b. 2 l  
          c. びん5本              d. びん10本

2. a. 3 l              b. 5 l              c. 9 l

**宿題：** 97ページ

# レッスン 2

## 2.3 リットルで容器のかさをたしたりひいたりしましょう

### 考えてみよう

計算しましょう。

a.  $18\text{ l} + 9\text{ l} = 27\text{ l}$

b.  $28\text{ l} - 9\text{ l} = 19\text{ l}$

### 答えてみよう

a.



フリア

	1	8
+		9
	① 2	7

答え：  $18\text{ l} + 9\text{ l} = 27\text{ l}$ 。

b.

	① 2	8
-		9
	1	9

答え：  $28\text{ l} - 9\text{ l} = 19\text{ l}$ 。

### 理解しよう

リットルでのかさをつたしたりひいたりするには：

1. 数字をつたしたりひいたりします。
2. 計測単位（リットル）をつけて、答えを完成させましょう。

### 解いてみよう

計算しましょう。

a.  $28\text{ l} + 7\text{ l}$

	2	8
+		7
	① 3	5

答え：  $35\text{ l}$ 。

b.  $25\text{ l} - 7\text{ l}$

	① 2	5
-		7
	1	8

答え：  $18\text{ l}$ 。

### 家で解いてみよう

計算しましょう。

a.  $14\text{ l} + 9\text{ l}$

	1	4
+		9
	① 2	3

答え：  $23\text{ l}$ 。

b.  $27\text{ l} - 8\text{ l}$

	① 2	7
-		8
	1	9

答え：  $19\text{ l}$ 。

### 達成の目安：

2.3 リットルで示された容器のかさのたし算やひき算の問題を解きましょう。

**ねらい：** たし算やひき算を活用して、かさの単位としてリットルが含まれている問題を解きます。

**重要なポイント：** 前回の授業で導入したリットル (l) を計測単位として使い、容器のかさを示す量のたし算やひき算の問題を解くことが求められています。これを解くには、以下のステップを行う必要があります。

- データを正確に配置して（単位の下に単位を、10の位の下に10の位を）、縦形式の式で示される計算（たし算またはひき算）を行います。
- 結果を書いて、それぞれの場合に単位を付け加えます。

縦で計算（たし算やひき算）を行う場合、数字の部分だけを計算して、結果に単位を付けたすことを意識する必要があります。さらに、かさを示す数字を計算する場合には同じ計測単位、この場合にはリットルを使う必要があることも強調します。解いてみようや家で解いてみようの問題は、分析してみようと似たものになっています。

### メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

### 日付：

### 授業：2.3

Ⓐ 計算しましょう。

a.  $18\text{l} + 9\text{l}$

b.  $28\text{l} - 9\text{l}$

$$\begin{array}{r} \textcircled{S} \quad 1 \quad 8 \\ + \quad \quad 9 \\ \hline \textcircled{1} 2 \quad 7 \end{array}$$

答え：27 l.

$$\begin{array}{r} \quad 1 \quad \textcircled{1} 8 \\ \textcircled{Z} \quad \quad 8 \\ - \quad \quad 9 \\ \hline \quad 1 \quad 9 \end{array}$$

答え：19 l.

Ⓑ 計算しましょう。

a.  $28\text{l} + 7\text{l}$

b.  $25\text{l} - 7\text{l}$

$$\begin{array}{r} \quad 2 \quad 8 \\ + \quad \quad 7 \\ \hline \textcircled{1} 3 \quad 5 \end{array}$$

答え：35 l.

$$\begin{array}{r} \quad 1 \quad \textcircled{1} 5 \\ \textcircled{Z} \quad \quad 5 \\ - \quad \quad 7 \\ \hline \quad 1 \quad 8 \end{array}$$

答え：18 l.

宿題：98ページ













# ユニット9

## 算数の応用

### 1 このユニットのねらい

- アナログ時計を使って時間と分で活動時間を計り、カレンダーを知って活動の計画や運営を行います。
- 米ドル紙幣の名前を知り、たし算やひき算を行ってお金の量が関係する問題を解きます。

### 2 学習の流れと範囲

#### 1学年

##### ユニット10：算数の応用

- 長さや広さを比べましょう
- かさを比べましょう
- 重さを比べましょう
- 硬貨やそれと同じようなものを使ってみましょう
- 時計と時間、分を理解しましょう

#### 2学年

##### ユニット9：算数の応用

- 時間の測り方を理解しましょう
- データを整理してみましょう
- お札を理解しましょう
- 計算の練習をしましょう

#### 3学年

##### ユニット9：硬貨と棒グラフ

- 金額の計算
- 棒グラフの読み方と書き方

### 3 このユニットの構成

レッスン	授業	タイトル
<b>1</b> 時間を計る 方法を理解しましょう	1	時間
	2	時刻
	3	1日の時刻
	4	カレンダー
<b>2</b> データを整理してみましょ う	1	整理して、頻度表やグラフで解釈しましょう
	2	頻度表やグラフのメリットを見つけましょう
<b>3</b> お札を理解しましょう	1	お札を見分けましょう
	2	お札で金額を作りましょう
	3	お札の数でたし算をしましょう
	4	お札の数でひき算をしましょう
	5	学んだことをやってみましょう

# 4

計算の練習をしましょう  
やってみましょう

- 1 学んだことをやってみましょう
- 2 学んだことをやってみましょう
- 3 学んだことをやってみましょう
- 4 学んだことをやってみましょう
- 5 学んだことをやってみましょう
- 6 学んだことをやってみましょう
- 7 学んだことをやってみましょう
- 8 学んだことをやってみましょう
- 9 学んだことをやってみましょう

- 1 ユニットテスト
- 2 第3学期テスト
- 3 2年次算数年度末テスト

授業総数

20

- + ユニットテスト
- + 第3学期のテスト
- + 算数の最終テスト

## 4 各レッスンの要点

### レッスン1

#### 時間の測り方を理解しましょう（全4コマ）

この課は1年生のユニット10を続けて、児童がアナログ時計をすでに知っていて、時間を読めることから始まります。このレベルでは1時間と分、1日と時間の等しさについて話題にして、午前や午後で時間を区別する方法を勉強します。また、カレンダーでの作業を行い、その特徴や、正確に日にちを見出す方法を学びます。

### レッスン2

#### データを整理してみましょう（全2コマ）

頻度表やグラフの概念が導入されます。対応するデータを記入し、情報の記録方法やデータの解釈方法を理解すべく児童には表や棒グラフが提供され、これにより頻度表は、頻度をきちんと知りたい場合に役立つ一方、グラフは数字の比較に役に立つことがわかります。頻度表を横に使い、グラフへの移行を理解しやすくして、この種のグラフに言及して、3年時に勉強する棒グラフを導入しておきます。

### レッスン3

#### お札を理解しましょう（全5コマ）

この課では米ドル紙幣に関して取り組み、紙幣それぞれを額面やその他示される特徴で区別することから始めて、"\$"記号を用いて通貨量を示す方法も導入されます。その後紙幣間での等価値性を知り、異なる額面の紙幣を組み合わせて金額が作られます。最後にたし算やひき算に関して獲得された知識が応用され、金額を含む問題を解くこととなります。

### レッスン4

#### 計算の練習をしましょう（全9コマ）

本課ではその目的として、学年を通じて最も重要であり、今後の学年の内容の発展の基盤となる内容に関して問題を解きますが、その中では以下のものが強調されます。

- 1000より小さい数のたし算とひき算
- 1から10までの九九表
- 0のかけ算
- 長さの単位

# レッスン

# 1

## 時間の測り方を理解しましょう

### 1.1 時間

#### ① 考えてみよう

時計と、マリオがそれぞれの活動を行った時刻を見ましょう。そして答えましょう。



家を出る。

7:00



学校に着く。

7:20



授業が始まる。

7:30

- a. マリオが家を出てから学校に着くまで、どれだけ時間がかかりましたか?
- b. 授業の開始時刻を確認しましょう。10分前の時刻は何時でしたか?

「7時」は7:00と書きます。



#### 答えてみよう

- a. 長針が12を指してから進んだ目盛りを数えます。

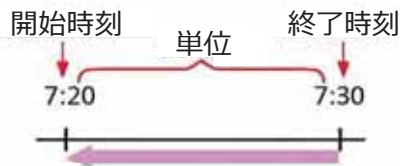


ホセ



答え：20分。

- b. マリオが授業を始めた時刻を観察して、7:30から10分遅らせます。



答え：7:20でした。

時計は、時間を計るのに使われる一番ありふれた道具です。時計にはいろんな種類の時計があります。日時計、火時計、砂時計、最近では電子時計などがあります。



#### ② 理解しよう

2つの異なる時刻の間で過ぎた分や時間の数が、**時間**と呼ばれます。



### 3 解いてみよう

1. よく見て答えましょう。マルタが宿題をするのにかかる時間は?



宿題を指定します。

3:30



宿題を終える

3:50

答え： 20 分。

2. 時計は9:40を指しています。

a. 30分前の時刻は何時でしたか? 9:10

b. 15分後の時刻は何時ですか? 9:55



3. ミゲルはテレビを4:15から4:45まで見ました。

どれだけの時間テレビを見ましたか?

答え： 30 分。



### 家で解いてみよう

1. よく見て答えましょう。アントニオが授業の復習をするのにどれだけの時間がかかりましたか?



復習開始

3:15



復習終了

3:40

答え： 25 分。

2. 時計は11:10を指しています。

a. 5分前の時刻は何時でしたか? 11:05

b. 40分後の時刻は何時ですか? 11:50



3. ダビーは2:35にバスターミナルに到着し、2:55に出発するバスに乗ります。

何分待つ必要がありますか?

答え： 20 分。



おうちの人のサイン：



## 達成の目安：

1.1 アナログ時計を使って開始時刻と終了時刻を与えられたら、できごとや活動の続く分数を決めます。

**ねらい：** 時間という用語を導入し、1時間内での特定活動の時間を計算します。

**重要なポイント：** ① の活動では、実行した活動が続く分の数として時間を定義することが求められています。このため、通常活動3つと、それぞれが実行される時刻が示されます（アナログ時計と数字を使って）。児童は、各活動が行われる時刻を分析して質問に答えます。理解を促すべく、行われる活動の開始時刻と終了時刻を示すダイアグラムが表示され、活動の開始と終了を示す長針（分針）が2つ描かれたアナログ時計と関連付けられます。さらに、5つずつ数えることで、アナログ時計の数字の目盛りの間で経過した時間を定めることができることを思い出させます。

② では、時間の概念が定義され、別の種類の時計が示されます。③ を発展させるべく、分析しましょうと同じ方法で進められ、活動間の開始時刻と終了時刻を特定する必要があります。場合によっては、解答セクションで見られるような形で、同じ時計に活動の始めか終わりを示す別の長針（分針）を書いて活動を始めます。1. や3. で児童が困難を来す場合には、分析しましょうのa. を再度分析して、2. の場合には分析しましょうのb. を再度分析します。

## メモ：

---

---

---

---

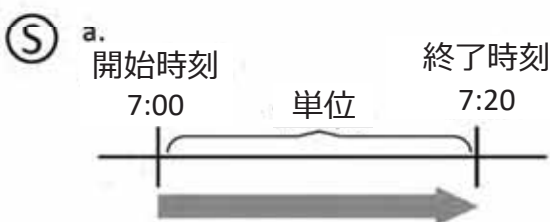
---

---

## 日付：

## 授業：1.1

- Ⓐ 分析しましょうをよく見て答えましょう。
- マリオが家を出てから学校に着くまで、どれだけ時間がかかりましたか？
  - 授業の開始時刻を確認しましょう。10分前の時刻は何時でしたか？



答え：20分。



答え：7:20でした。

- Ⓓ
- 宿題開始 3:30 宿題を3:50に終わりました
- 答え：20分。
- 2.
- 9:10
  - 9:55

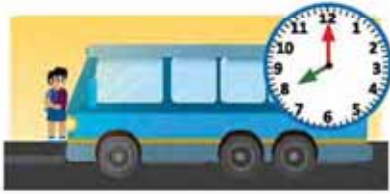
宿題：101ページ

# レッスン 1

## 1.2 時間

### ① 考えてみよう

ホセはラ・リベルターからサン・サルバドルまで行って、おばあちゃんに会いに行きました。よく見て答えましょう。



ラ・リベルター出発。

8:00



サン・サルバドルに到着。

9:00



おばあちゃんの家に着く。

11:00

- ラ・リベルターからサン・サルバドルまでは何分かかりましたか？
- ラ・リベルターを出てからおばあちゃんの家に着くまで、ホセは何時間かかりましたか？

### 答えてみよう

- 長針が12を指してから進んだ小さな目盛りを数えます。小さな目盛りで60個進みました。



60分は1時間と等しいです。



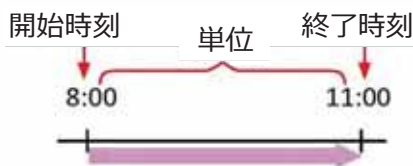
答え： 60 分。



ベアトリス

短針は**時針**と呼ばれます。長針は**分針**と呼ばれます。

- 短針が進んだ青い目盛りを数えます。青い目盛りで3つ進みました。



答え： 3 時間。



### ② 理解しよう

60分は1時間と等しいです。1時間は60分と等しいです。  
時計では、短い目盛りが分を、そして長い目盛りが時間を示しています。

### 解いてみよう

- 書き入れましょう。
  - 60分は 1 時間と等しいです。
  - 1時間は 60 分。

2. 4:00です。

- a. 60分前の時刻は何時でしたか? 3:00
- b. 1時間前の時刻は何時でしたか? 3:00
- c. 3時間前の時刻は何時でしたか? 1:00

3. 時計は6:00を指しています。

- a. 60分後の時刻は何時ですか? 7:00
- b. 1時間後の時刻は何時ですか? 7:00
- c. 4時間後の時刻は何時ですか? 10:00

4. アンドレスは友達ファンに会いに行きました。家を2:00に出て4時間後に帰りました。何時に帰りましたか?

答え : 6:00

★やってみよう

当てはまる数字を入れましょう。

- a. 1時間10分 = 70 分。
- b. 90分 = 1 時間 30 分。

家で解いてみよう

1. 時計は9:00を指しています。

- a. 60分前の時刻は何時でしたか? 8:00
- b. 1時間前の時刻は何時でしたか? 8:00
- c. 5時間前の時刻は何時でしたか? 4:00



2. 時計は1:00を指しています。

- a. 60分後の時刻は何時ですか? 2:00
- b. 1時間後の時刻は何時ですか? 2:00
- c. 2時間後の時刻は何時ですか? 3:00



1. イネスとアビガイルが公園に行きました。3:00に到着して2時間いました。何時に公園を出ましたか?

答え : 5:00

おうちの人のサイン : \_\_\_\_\_

### 達成の目安：

1.2 開始時刻か終了時刻、そしてイベントの時間～時（間） ちょうどのときに、アナログ時計を使ってイベントの開始時刻か終了時刻を定めます。

**ねらい：** 1時間と分の間の等しい関係を確立して、アナログ時計を使って関連する問題を解きます。

**重要なポイント：** この授業では前の授業と同じアイデアが発展し、1時間と分の間の等しさを示すことや、別の時刻に起きる活動2つの間で過ぎた時間を計ることに焦点を当てます。① では以前同様、ダイアグラムを使って開始時刻と終了時刻を決め、アナログ時計の時刻と関連付けます。a. の場合には児童は、橙色の矢により、長針（分針）が1周した、すなわち60分が過ぎ、そして短針（時針）も次の数字に進んだため、60分が1時間と等しいことを観察する必要があります。b. の場合、解き方を見つける方法が2つ紹介され、長針（分針）が3周し、短針（時針）が8から11まで進んだことを観察すると、両方の方法で3時間経ったことが観察されます。

② では時計の両方の針を区別すること、それぞれの針が何を意味するか理解することに力点が置かれます。問題のセクションは分析しましょうで紹介されたものと同じアイデアを続け、児童が時計の針で学習を進めることを指示することができます。③ では、困難を抱える場合には針を描かせることもできます。挑戦してみましょうでは、理解しましょうで紹介された等しさを使うことが示されます。

### メモ：

---

---

---

---

---

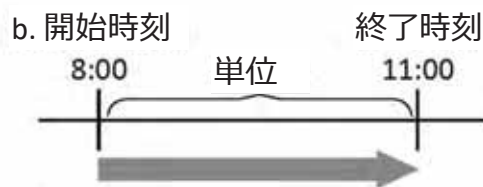
### 日付：

### 授業：1.2

- Ⓐ 分析しましょうをよく見て答えましょう。
- ラ・リベルターからサン・サルバドルまでは何分かかりましたか？
  - ラ・リベルターを出てからおばあちゃんの家に着くまで、ホセは何時間かかりましたか？



答え：60分。



答え：3時間。

- Ⓓ
- 60分は1時間と等しいです。
    - 1時間は60分と等しいです。
  - 3:00
    - 3:00
    - 1:00

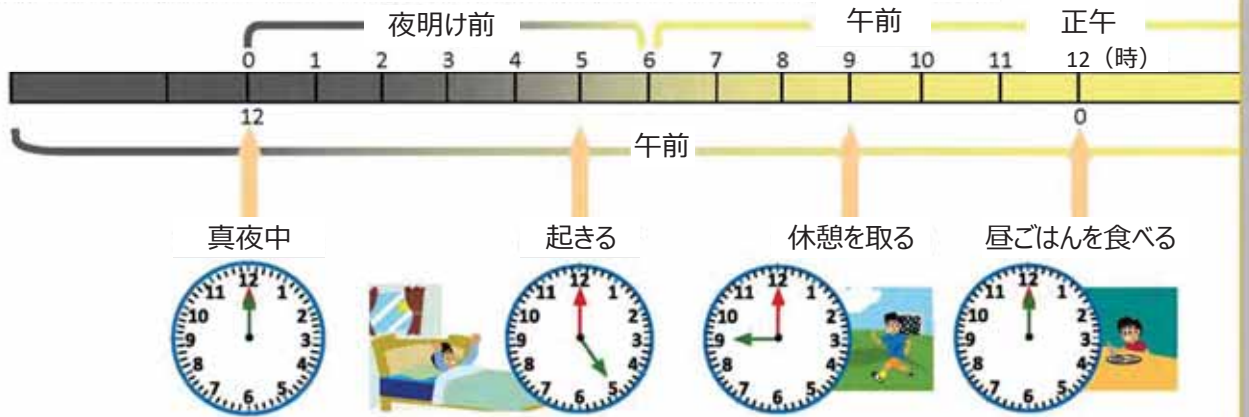
宿題：103ページ

# レッスン 1

## 1.3 1日の時間

### 1 考えてみよう

ホセが行うさまざまな活動で、時計が示す時刻を見ましょう。



- 以下の活動の時刻を特定してください。
  - 起きる
  - 宿題をする
- 1については、正午の前と後の時刻の違いをどうやって表現しますか？
- 1日は何時間ありますか？

### 答えてみよう

1. 短針は5を、長針は12を指しています。

a. 起きる : 5:00

b. 宿題をする : 5:00



2. 起きる → 午前5時 → 午前 5:00  
 宿題をする → 午後5時 → 午後 5:00

どちらの活動でも5:00ぴったりです。



**正午の前**  
 夜明け前や朝の時刻を示すには、午前を使います。

午前5:00

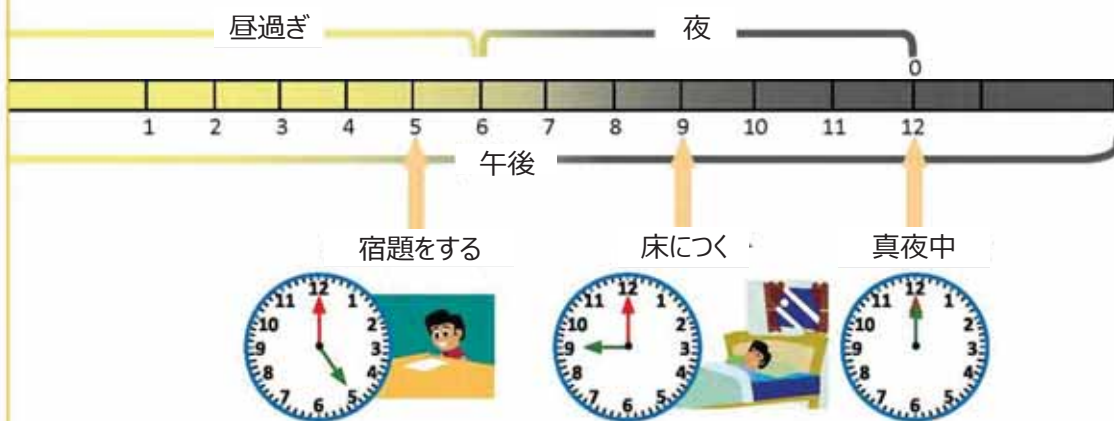
**正午のあと**  
 昼過ぎや夜の時刻を示すには、午後を使います。



午後5:00

3. 上の帯を見ましょう。  
 正午の前 :  
 夜明け前と朝 → 12 時間。  
 1日は24 時間です。

正午の後 :  
 昼過ぎや夜 → 12 時間。



## 2 理解しよう

正午の前、つまり夜明け前や朝の時刻については**午前**を、正午の後、つまり昼過ぎや夜の時刻については**午後**を使います。1日には24時間あります。つまり**1日 = 24時間**です。

## 3 解いてみよう

1. ホセの活動を観察して、それぞれの活動の時刻を書きましょう。

- a. 休憩を取る → 午前9時 → 9:00 a.m.  
 b. 床につく → 夜9時 → 9:00 p.m.

2. 当てはまる数字を入れましょう。

- a. 1日は 24 時間に等しいです。  
 b. 24時間は 1 日に等しいです。

## 家で解いてみよう

1. 午前と午後を使って、次の活動を行う時刻を書きましょう。

- a. 起きる                      b. 家を出る。                      c. 学校に着く。                      b. 宿題をする

児童により異なる。

\_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_                      \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_                      \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_                      \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_

2. 当てはまる数字を入れましょう。

- a. 24時間は 1 日に等しいです。  
 b. 1日は 24 時間に等しいです。

おうちの人のサイン：

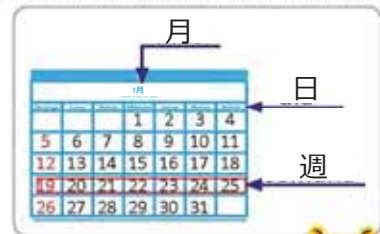


# レッスン 1

## 1.4 カレンダー

### ① 考えてみよう

カレンダーは1年の日にちが整理される場所で、  
月や週で整理されます。  
次のカレンダーを見て答えましょう。



## 2020年 カレンダー

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6月						
日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

9月						
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 1年には何か月ありますか?
- 1週間には何日ありますか?
- 1年には何日ありますか?
- 12月31日は何曜日でしょうか?



## 答えてみよう

a. 1年には 12 か月あります。

b. 1週間には 7 日あります。

c. それぞれの月の日数をたすと、1年は 365 日あることがわかります。

d. まず月、この場合は12月を見つけ、次に31日を見つけると、この列に対応する曜日は 木曜日 です。

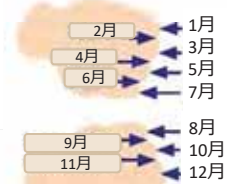


アナ

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

手でこぶしを作ると、それぞれの月の日数がわかります。  
出っ張りは、31日の月です。  
くぼみは、30日の月です。

2月は、28日か29日しかありません。



## 2 理解しよう

1年には12ヶ月あります。  
1週間には7日あります。  
1年は365日あります。

2月が29日ある場合、うるう年と呼ばれ、1年は366日です。



## 解いてみよう

教えてください。

a. 1年には何か月ありますか?

答え： 12 か月あります。

b. 1月には何週間ありますか?

答え： 4 週間あります。

c. 2020年には何日ありますか?

答え： 365 日あります。

d. 分析しましょうのカレンダーを見ましょう。9月15日は何曜日ですか?

答え： 火曜日。

## 家で解いてみよう

- 大きな声で、1月から12月まで3回読み上げましょう。
- 大きな声で、日曜日から土曜日まで3回読み上げましょう。
- 分析しましょうのカレンダーを見ましょう。どの日が誕生日ですか?

答え： 児童により異なります。

おうちの人のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

1.4 カレンダーで、1週間にある日数や、1年間にある月数と日数を見極めましょう。

**ねらい：** カレンダーとその構成要素、そしてそれを正確に使う方法を知りましょう。

**重要なポイント：** ① では2020年に対応するカレンダーが示され、これを使って提示される質問に答えます。項目 a. と b. は児童になじみ深いものになる可能性があり、a. ではそれぞれの四角が1年の各月を表現していることを観察して、これにより1年が12ヶ月あることを見極める必要があります。b. では各月の表の行で1週間の曜日が整理されており、これにより1週間は7日あることに気づくことになります。c. の場合には、毎月の日数をたす必要があり、最初の2か月をたし、その後3か月目以降の日数をたし続けることで、365日という結果が生まれます。d. ではまず月を特定し、表の列が曜日に対応していることに気づき、31日という数字を見つけ、これが木曜日の列にあることを観察します。

マスコットが示す活動を実行することが大切で、これによりより簡単な方法で、1年の各月の日数が簡単に覚えられるようになります。

② では、授業のまとめが示され、うるう年が定義されます。解くべき問題は、分析しましょうで紹介されているものと同じアイデアに従っています。時間に応じて、誕生日や子どもの日、教師の日などその他重要な日付を見つけるようにすることもできます。

## メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

### 日付：

### 授業：1.4

- Ⓐ 次のカレンダーを見て答えましょう。
- a. 1年には何か月ありますか？
  - b. 1週間には何日ありますか？
  - c. 1年には何日ありますか？
  - d. 12月31日は何曜日でしょうか？

- Ⓔ
- a. 1年には12か月あります。
  - b. 1週間には7日あります。
  - c. 1年には365日あります。
  - d. 12月31日は木曜日です。

- Ⓖ
- a. 答え：12か月あります。
  - b. 答え：4週間あります。
  - c. 答え：365日あります。
  - d. 答え：火曜日。

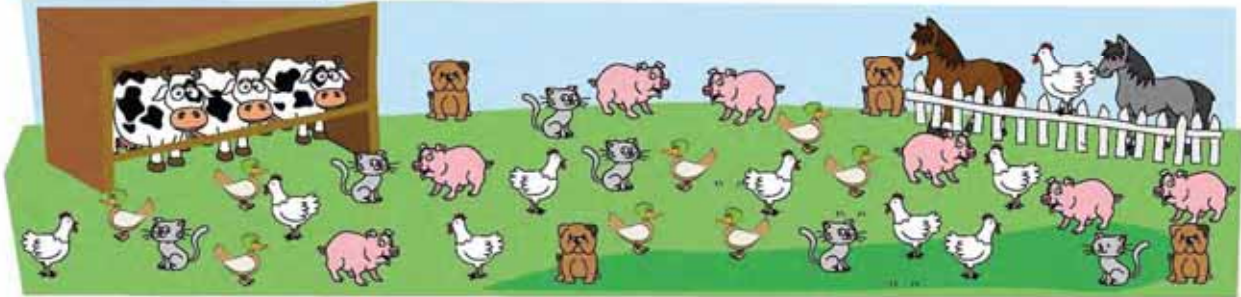
宿題：107ページ

# レッスン 2 データを整理してみよう

## 2.1 整理して、頻度表やグラフで解釈しましょう

### 1 考えてみよう

動物を見て答えましょう。



- カモが8羽と牛が3頭いる表の例を見て、それぞれの種類の動物の数を表に書きましょう。
- それぞれの種類の動物に丸をつけてグラフを完成させましょう。
- 猫は何匹いますか？
- 2匹いる動物はどれですか？

### 答えてみよう



- 行が2つある表を作り、その後動物の種類と数を書きます。

カルロス

牧場の動物

動物	カモ	牛	めんどり	馬	豚	ねこ	犬
数	8	3	9	2	7	6	4

2列の表を作ることもできます。

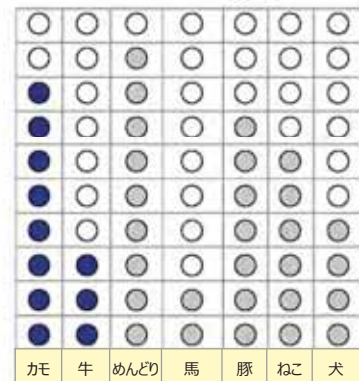
動物	数
カモ	8
牛	3
めんどり	9
馬	2
豚	7
ねこ	6
犬	4



- ねこが6匹います。

- グラフを作って、その後数えて1匹ごとにしるしをつけます。

牧場の動物



- 馬は2頭います。

### 2 理解しよう

1. 観察データは、**頻度表**と呼ばれる表で整理されます。そのデータが現れる回数を、**頻度**と呼びます。

例えば、カモは8回現れるので、頻度は8です。

動物	カモ	牛	めんどり	馬	豚	ねこ	犬
頻度	8	3	9	2	7	6	4

2. グラフではしるし1つが1匹を表します。

## 解いてみよう

野菜を見て答えましょう。



野菜の種類

野菜	カブ	トマト	レタス	きゅうり
頻度	7	3	4	5

野菜の種類

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
カブ	トマト	レタス	きゅうり

- 頻度表とグラフを完成させましょう。
- トマトはいくつありますか？ 3 つのトマト。
- 5つある野菜はどれですか？5つあるのは きゅうり です。

## 家で解いてみよう

動物を見て答えましょう。



動物

動物	カメ	犬	うさぎ	ねこ	オウム
頻度	9	8	3	4	6

動物

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
カメ	犬	うさぎ	ねこ	オウム

- 頻度表とグラフを完成させましょう。
- 何匹のカメがいますか？ 9 匹のカメがいます。
- 8匹いる動物はどれですか？8匹いるのは 犬 です。

おうちの人のサイン：

**達成の目安：**

2.1 頻度表とグラフを整理して、データを読みましょう。

**ねらい：** 頻度表とグラフを知り、観察データを整理して、情報を解釈しやすくします。

**重要なポイント：** ① 情報を表に整理し、グラフを作ることでより単純な形でデータの特徴を得ることができる状況が紹介されます。児童はイラストに登場するさまざまな動物を特定し、種類ごとに数を数え、合計を表に記録します。さらに、縦と横の2つの方法で作る方法も示されます。位置に関係なく表は、さまざまな動物の名前と、種類ごとの数という、同じ情報を反映することを説明することが大切です。

b. では1匹あたりまるで埋める必要があり、a. で完成させた表の情報を抽出することができます。グラフを使うと最も単純なデータを視覚化し比較を実現できることを認識することが大切です。c. についてはd. 、表またはデータのグラフを見ることができます。

②では、観察データは「頻度表」と呼ばれる表で整理され、その中であるデータが登場する回数は「頻度」と呼ばれ、分析しましょうで提起される問題の頻度を特定します。この概念は、次の問題で使われます。問題のセクションは、分析しましょうで提案された内容と似た形で解けます。

**指導案：** 表とグラフを描くのはかなり時間がかかるため、事前に作成した図を使うことを推奨します。グラフの場合はまるを編集して、くつつくようにして、よりシンプルな形で黒板上でグラフが完成するようにします。

**メモ：**

**日付：**

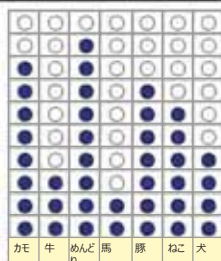
**授業：2.1**

- Ⓐ a. それぞれの種類別の動物の数で表を完成させましょう。  
 b. グラフを完成させましょう。  
 c. 猫は何匹いますか？  
 d. 2匹いる動物はどれですか？

Ⓒ a.

動物	カモ	牛	めんどり	馬	豚	ねこ	犬
数	8	3	9	2	7	6	4

b. 牧場の動物。

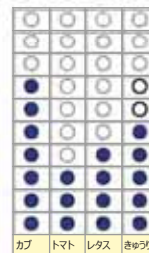


- c. ねこが6匹います。  
 d. 馬が2頭います。

Ⓓ a.

野菜	カブ	トマト	レタス	きゅうり
頻度	7	3	4	5

b. 野菜の種類。



- c. 3個のトマトがありました。 d. 5本のきゅうりが  
**宿題：109ページ** ありました。

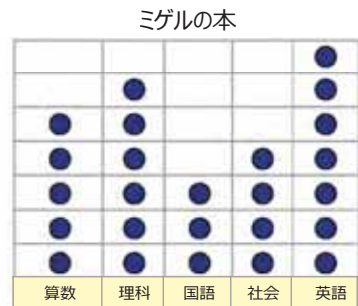
# レッスン 2

## 2.2 頻度表やグラフのメリットを見つけましょう

### 考えてみよう

頻度表やグラフは、ミゲルが持っている本の数を示しています。よく見て答えましょう。

本	算数	理科	国語	社会	英語
頻度	5	6	3	4	7



- 算数の本は何冊ありますか?、英語と算数の本のうち多いのはどちらですか?、どれだけ多いですか?
- どの種類の本が一番多いですか?、どの種類が一番少ないですか?

### 答えてみよう

- 表を使うと、算数の本は 5 冊あることがわかります。英語の本は 7 冊です。そのため 英語 の本が、算数 の本よりも 2 冊多いです。
- グラフを見ると、英語 の本のほうが多いことがわかります。しるしがもっと高いところまで届いているからです。国語 の本は少ないですが、これはしるしが低いところにとどまっているからです。



カルメン

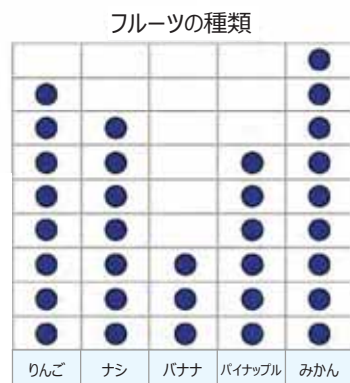
### 理解しよう

頻度表は、特定のものの量を知るのに使われる一方、グラフは別々の種類のもののデータを比べるのに役に立ちます。

### 1 解いてみよう

頻度表とグラフは、それぞれのフルーツの量を示します。よく見て答えましょう。

フルーツ	りんご	ナシ	バナナ	パイナップル	みかん
頻度	8	7	3	6	9



- りんごは何個ありますか。 8。
- パイナップルとナシのうち、より少ないのはどちらですか? パイナップル。どれだけ少ないですか? 1。
- 一番多い種類のフルーツはどれですか? みかん。
- 一番少ない種類のフルーツはどれですか? バナナ。

### 家で解いてみよう

頻度表とグラフは、それぞれの硬貨の量を示します。よく見て答えましょう。

硬貨	1セント	5セント	10セント	25セント	1ドル
頻度	6	5	7	4	2



- 1セント硬貨はいくつありますか? 6つ。
- 一番多い種類の硬貨はどれですか? 10セント。
- 一番少ない種類の硬貨はどれですか? 1ドル。
- 5セントと10セントの硬貨のうち、どちらのほうが多いですか? 10。

おうちの人のサイン：

## 達成の目安：

### 2.2 頻度表とグラフが示す情報を解釈しましょう

**ねらい：** 頻度表とグラフが提供する情報を読み、頻度表により特定の品物が持つ量を知ることができる一方、グラフにより異なる種類のもののデータを比較することができることを観察します。

**重要なポイント：** この授業では、観察データの分析には頻度表とグラフのどちらを使うのがより適切かを見定めることが求められています。このため、ミゲルが持っている本の頻度表とグラフが提供する状況が紹介され、a. での質問は本が持つ正確な数を知ることに向けられていることから、頻度表を使う必要があります。その一方でb. はデータを比べ、どの種類の本が多いか?やどの種類が少ないか?というデータを比較することに向けられています。グラフを観察し、丸の数が多いか少ない列を指摘するだけで十分です。

①の問題は分析しましょうと同じアイデアが続きますが、分析が依頼される状況に応じて、表やグラフを使うことを強調する必要があります。例えば、a. とb. では頻度表が観察される一方、項目c. とd. では異なる種類の果物の量を比較することが求められているため、グラフが理想的です。フルーツの種類グラフィックでは児童は、バナナの種類を修正するように指摘してください。

## メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

## 日付：

## 授業：2.2

- Ⓐ 分析しましょうの表とグラフを見て、答えましょう。
- 算数の本は何冊ありますか?、英語と算数ではどちらの本が多いですか?、何冊多いですか?
  - どの種類の本が一番多いですか?、どの種類が一番少ないですか?

- Ⓒ a. 表を使います。算数の本が5冊で、英語の本は7冊あります。  
英語の本のほうが、算数の本よりも2冊多いです。
- b. グラフを使います。英語の本のほうが多いです。  
国語の本のほうが少ないです。

- Ⓓ a. りんごは8個あります。  
b. パイナップル。  
c. みかん。  
d. バナナ。

宿題：110ページ

# レッスン

# 3

## お札を理解しましょう

### 3.1 お札を見分けてみましょう

#### 1 考えてみよう

お札の額面はいくらですか？



#### 答えてみよう

赤でお札の額面を囲みます。



アントニオ



1ドル札は、硬貨とお札の両方があります。



答え：お札の額面は 1 ドルです。

#### 2 理解しよう

存在するお札の額面は、次の通りです。1ドル、5ドル、10ドル、20ドル、50ドルと100ドル。硬貨と違い、お札は全て同じ大きさです。

ドルの数を記号として表すために、表現する額の前に\$記号をつけます。例：1ドルは記号で\$1と書かれます。



\$1



\$5



\$10



\$20



\$50



\$100

#### 解いてみよう

赤色でそれぞれのお札の価値を囲み、\$記号を使って書きましょう。

a.



\$ 5

b.



\$ 50

c.



\$ 10

#### 家で解いてみよう

赤色でそれぞれのお札の価値を囲み、\$記号を使って書きましょう。

a.



\$ 100

b.



\$ 1

c.



\$ 20

おうちの人サイン： \_\_\_\_\_



**達成の目安：**

3.1 \$1、\$5、\$10、\$20、\$50と\$100札を特定しましょう。

**ねらい：**米ドル紙幣とその異なる額面、そして特徴を知りましょう。ドルの記号"\$"を導入します。

**重要なポイント：**①での活動の目的は、紙幣の四隅に現れる額面を観察して、児童がお札を特定できるようになることです。お札の額面を特定するには、お札の右上隅に表示される額面をまるで囲みます。

②では存在する米ドル紙幣が紹介され、紙幣の額面の前につける必要のあるドル記号（\$20は20ドルと読む）が導入されます。紙幣の額面と、記号を使って金額を書く正しい方法を特定したら、例えば以下のような形でその紙幣のその他の特徴に言及するよう頼むことができます。

- 紙幣の色はそれぞれ違います。
- それぞれの紙幣に登場する人も違います。

**メモ：**

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**日付：**

**授業：** 3.1

Ⓐ お札の額面はいくらですか？



Ⓒ 紙幣の価値は1ドルで、\$1と書きます。

- Ⓡ
- a. \$5
  - b. \$50
  - c. \$10

**宿題：** 111ページ

# レッスン

# 3

## 3.2 お札で金額を作りましょう

### ① 考えてみよう

おもちゃ屋さんで自転車が\$25で売っています。アナ、アントニオ、ホセとフリアは貯金を集めて、それぞれ自転車を買います。\$25の金額にするのに必要な紙幣にまるをつけましょう。



### 答えてみよう

a. アナ



b. アントニオ



c. ホセ



d. フリア



### ② 理解しよう

いろんな方法でお札を組み合わせて同じ金額を作ることができます。\$25は、さまざまな方法でお札を組み合わせて作ることができます。

- a. \$20のお札1枚と\$5のお札1枚。
- b. \$10のお札2枚と\$5のお札1枚。
- c. \$10のお札1枚と\$5のお札3枚。
- d. \$5札5枚。

\$25にするには、別の方法でお札を組み合わせるやり方もあります。

例：

- \$1札25枚。
- \$10札が2枚と\$1札が5枚、などです。

別の金額も作ることができます。次の等しさに注意しましょう。



練習問題と家で解いてみようでは、それぞれの問題に解き方が示されますが、これだけではないことに気づく必要があります。

### 3 解いてみよう

1. 示される金額にするのに必要なお札にまるをつけましょう。

a. \$17



b. \$31



2. \$36にたりないお札の数をつけて、完成させましょう。

a.



1



1



3



0

b.



6



0



1



1

### 家で解いてみよう

1. 示される金額にするのに必要なお札にまるをつけましょう。

a. \$22



b. \$41



2. \$28にたりないお札の数をつけて、完成させましょう。

a.



8



0



2



0

b.



3



1



2



0

おうちの人のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

3.2 お札を使って特定の金額を作りましょう。

**ねらい：** 1、5、10または20ドルという別々の金額の紙幣を使って、一定額の高額を作り出す。それぞれの額を作る場合、数字の構成を強調します。

**重要なポイント：** ① では、画像で提供された紙幣を使って、一定額のお金を作ります。このセクションには主に2つの目的があります。

- 別々の額面の紙幣で、示された金額を作ります。
- 紙幣で一定額を作るさまざまな方法を示します。

② では分析しましょうの問題で行うべき、\$25の金額を作るさまざまなグループ分けが示され、この項目で示されていない他の方法も提供されます。さらに、\$5、\$10と\$20紙幣の間での等価性も示されます。

③ で示された問題は分析しましょうと同じアイデアを続け、1. では示された金額を作るのにさまざまな方法があることに気づく必要があります。たとえばa.では\$17は\$5紙幣3枚と\$1紙幣2枚で、または\$10紙幣1枚、\$5紙幣1枚と\$1紙幣2枚で作れます。2. では児童は、使う必要のある額面の紙幣が全て使われているので、別の額面の紙幣で埋め合わせる必要もあることを考慮して、\$36の金額を作るのに必要な各紙幣の数を書きます。以前と同じく、金額を作る方法が2つ以上あることも考慮する必要があります。

## メモ：

---

---

---

---

## 日付：

## 授業：3.2

**(A)** アナ、アントニオ、ホセとフリアは、\$25の自転車を買いたがっています。解いてみようをよく見て、\$25にするのに必要な紙幣にまるをつけましょう。

- (S)**
- \$20のお札1枚と\$5のお札1枚。
  - \$10のお札2枚と\$5のお札1枚。
  - \$10のお札1枚と\$5のお札3枚。
  - \$5のお札5枚。

**(R)** 1.  
a. \$5札が3枚と\$1札が2枚。  
b. \$10のお札3枚と\$1のお札1枚。

2.  
a. \$36

\$1	\$5	\$10	\$20
1	1	3	0

b. \$36

\$1	\$5	\$10	\$20
6	0	1	1

宿題：113ページ

# レッスン

# 3

## 3.3 お札の数でたし算をしましょう

### 1 考えてみよう

カルロスはお父さんとパン屋さんに行ってケーキやパンを買って、お母さんの誕生日をお祝いします。



- 選んだ品物ではいくら払う必要がありますか?
- 払うことのできる金額にまるをつけましょう。

### 答えてみよう



マリオ

a. 式を書きます。

式:  $\$11 + \$4$

答え:  $\$15$

b.



### 2 理解しよう

買い物をするときの支払い総額を計算するには、それぞれのものの値段をたして合計します。

### 解いてみよう

1. フリアは\$21のシャツと\$4のネックレスを買います。

a. 全部でいくら払う必要がありますか? 式:  $\$21 + \$4$  答え:  $\$25$ 。

b. 払うことのできる金額にまるをつけましょう。



2. 計算しましょう。

a.  $\$15 + \$4 = \$19$

b.  $\$20 + \$8 = \$28$

c.  $\$26 + \$5 = \$31$

### 家で解いてみよう

1. アントニオは\$24のハンモックと\$2のマグカップを買う必要があります。

a. 全部でいくら払う必要がありますか? 式:  $\$24 + \$2$  答え:  $\$26$ 。

b. 払うことのできる金額にまるをつけましょう。



2. 計算しましょう。

a.  $\$14 + \$3 = \$17$

b.  $\$30 + \$5 = \$35$

c.  $\$37 + \$5 = \$42$

## 達成の目安：

3.3 正確な金額でたし算を行う。

**ねらい：** たすそれぞれの金額がお札の額である日常生活の問題を解くべくたし算をして、\$1、\$5、\$10と\$20のお札で結果を示します。

**重要なポイント：** ① では、商品2つを買う場合に払う総額を定める必要のある状況が示されます。a. の状況では児童は式を書き、たし算をして支払総額を定めます。この場合、式と結果の両方にドル記号を付ける必要があることに注意します。b. では、前回の授業と似た活動が行われ、a. で得られた額を構成する紙幣にまるを付けることとなります。

② は、分析しましょうで行ったことがまとめられ、買い物で支払う特定の金額を定めるにはたし算が使われ、それぞれの商品の値段をたすことを強調する必要があります。練習問題と家で解いてみようの問題はどちらも、分析しましょうでの紹介内容と似ています。

## メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 日付：

## 授業：3.3

- Ⓐ a. 選んだ品物ではいくら払う必要がありますか？  
b. 払うことのできる金額にまるをつけましょう。

- Ⓒ a. 計算式： $\$11 + \$4$   
答え： $\$15$

$$\begin{array}{r} 11 \\ + 4 \\ \hline 15 \end{array}$$

- b. カルロスには\$10札1枚と\$5札1枚で支払う必要があります。

- Ⓓ 1.  
a. 式： $\$21 + \$4$   
答え： $\$25$   
b. \$25は、\$20と\$5で作ることができます。
2.  
a.  $\$19$       b.  $\$28$       c.  $\$31$

宿題：114ページ

## 3.4 お札の数でひき算をしましょう

### 1 考えてみよう

マルタとおばあちゃんはスーパーに行って、買い物で\$8ドル支払う必要があります。マルタのおばあちゃんは、\$10札で払います。



- 何ドルお釣りをもらえますか？
- レジの人がお釣りを渡すのに使うお札にまるをつけましょう。

### 答えてみよう

a. 式を書きます。



アナ

式：  $\$10 - \$8$

答え：  $\$2$

b.



### 2 理解しよう

支払うときに受け取るお釣りを決めるにはひき算を使い、支払額から支払うべき額を引きます。

### 解いてみよう

- ミゲルは\$10札で、\$4のキーホルダーを買いました。
  - 何ドルお釣りをもらいましたか？ 式：  $\$10 - \$4$  答え：  $\$6$ 。
  - おつりとしてもらったお札にまるをつけましょう。



2. 計算しましょう。

a.  $\$15 - \$4 = \$11$

b.  $\$26 - \$5 = \$21$

c.  $\$20 - \$8 = \$12$

### 家で解いてみよう

- ベアトリスは\$20札で、\$4のおもちゃを買いました。
  - 何ドルお釣りをもらいましたか？ 式：  $\$20 - \$4$  答え：  $\$16$ 。
  - お釣りとしてもらったお札にまるをつけましょう。



2. 計算しましょう。

a.  $\$14 - \$3 = \$11$

b.  $\$37 - \$5 = \$32$

c.  $\$30 - \$5 = \$25$

おうちの人のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

3.4 正確な金額でひき算を行う。

**ねらい：**ひかれる額とひく額がお札の額である日常生活の問題を解くべくひき算をして、\$1、\$5、\$10と\$20のお札で結果を示します。

**重要なポイント：**① では、買い物をしたあとでのお釣りを定める必要がある状況が示されます。a. の状況では児童は式を書き、ひき算をしてお釣りの額を定めます。この場合、式と結果の両方にドル記号を付ける必要があることに注意します。b. では、授業3.2と似た活動が行われ、受け取るお釣りの額を構成する紙幣にまるを付けることとなります。

② では分析しましょうで行われた内容がまとめられ、支払いを行う場合に受け取るお釣りを決める場合にはひき算を使うことを強調する必要があります。この場合引かれる数は支払った金額で、引く金額は買った商品の値段です。授業中や宿題として取り組む問題は、分析しましょうで紹介されたものと同じ方法で解かれます。

## メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

### 日付：

### 授業：3.4

- Ⓐ a. 何ドルお釣りをもらえますか?  
b. レジの人がお釣りを渡すのに使うお札にまるをつけましょう。

- Ⓒ a. 計算式： $\$10 - \$8$   
答え： $\$2$

b. お釣りは： $\$1$ と $\$1$ でつくります。

- Ⓓ 1.  
a. 式： $\$10 - \$4$   
答え： $\$6$   
b. \$6は、\$5と\$1で作ることができます。

2.  
a.  $\underline{\$11}$     b.  $\underline{\$21}$     c.  $\underline{\$12}$

宿題：115ページ



達成の目安：

3.5 時間と金額についての問題を解きます。

3.5 学んだ事やってみましょう

1. それぞれの活動を行う1日の時間に応じて、時計が示す時刻を書きましょう。

- a. シャワーを浴びる    b. 昼ごはんを食べる    c. 宿題をする    d. 寝る



6:30 a. m.



12:00 p. m.



4:25 p. m.



9:10 p. m.

2. 2020年11月14日は何曜日ですか？

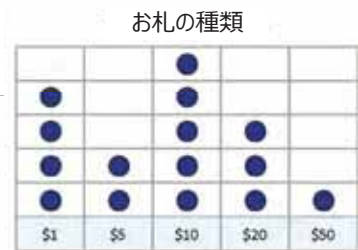
答え： 土曜日。

3. 2020年のクリスマスは何曜日ですか？

答え： 金曜日。

4. 頻度表とグラフは、それぞれの種類のお札の量を示します。よく見て答えましょう。

お札の種類					
お札	\$1	\$5	\$10	\$20	\$50
頻度	4	2	5	3	1



a. 一番多い種類の硬貨はどれですか？ \$10。

b. \$1と\$20の、どちらが多いですか？ \$1。

5. 計算しましょう。

a.  $\$17 + \$6 = \$23$

b.  $\$24 + \$6 = \$30$

c.  $\$22 - \$5 = \$17$

家で解いてみよう

1. それぞれの活動を行う1日の時間に応じて、時計が示す時刻を書きましょう。

- a. 朝ごはんを食べる    b. 学校を出る    c. 友達と遊ぶ    d. 歯を磨く



7:00 a. m.



12:05 p. m.



4:30 p. m.



8:25 p. m.

2. 2020年12月22日は何曜日ですか？

答え： 火曜日。

3. おおみそかは何曜日ですか？

答え： 木曜日。

4. 問題4の表とグラフを見て、答えましょう。

a. 一番少ない種類のお札はどれですか？ \$50。

b. \$1と\$10の、どちらが多いですか？ \$10。

5. 計算しましょう。

a.  $\$33 + \$7 = \$40$

b.  $\$29 - \$7 = \$22$

c.  $\$32 - \$6 = \$26$

# レッスン

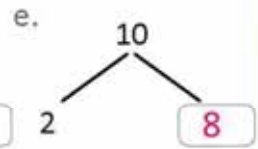
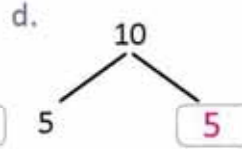
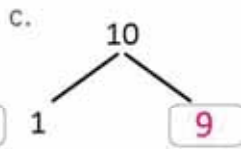
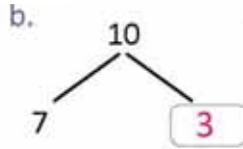
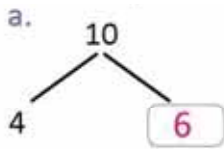
# 4

## 計算の練習をしましょう

達成の目安：4.1 横にしてたし算とひき算の問題を解く。

### 4.1 学んだ事やってみましょう

1. 10を分解しましょう。



2. 計算しましょう。

a.  $4 + 8 = 12$

b.  $7 + 6 = 13$

c.  $5 + 6 = 11$

d.  $7 + 8 = 15$

e.  $3 + 8 = 11$

f.  $2 + 9 = 11$

g.  $9 + 4 = 13$

h.  $6 + 7 = 13$

i.  $8 + 5 = 13$

j.  $4 + 9 = 13$

k.  $13 + 6 = 19$

l.  $14 - 8 = 6$

m.  $15 - 4 = 11$

n.  $16 - 7 = 9$

ñ.  $17 - 5 = 12$

o.  $12 - 4 = 8$

p.  $11 - 7 = 4$

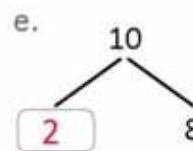
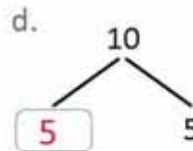
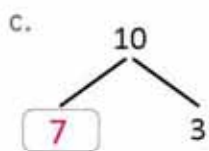
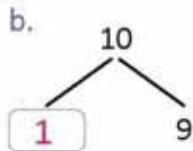
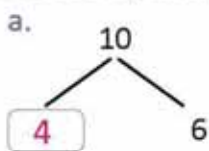
q.  $14 - 6 = 8$

r.  $13 - 5 = 8$

s.  $16 - 8 = 8$

### 家で解いてみよう

1. 10を分解しましょう。



2. 計算しましょう。

a.  $4 + 7 = 11$

b.  $3 + 9 = 12$

c.  $8 + 4 = 12$

d.  $6 + 9 = 15$

e.  $8 + 7 = 15$

f.  $7 + 5 = 12$

g.  $1 + 9 = 10$

h.  $5 + 7 = 12$

i.  $9 + 4 = 13$

j.  $2 + 8 = 10$

k.  $14 + 7 = 21$

l.  $17 - 9 = 8$

m.  $12 - 7 = 5$

n.  $16 - 8 = 8$

ñ.  $18 - 9 = 9$

o.  $11 - 5 = 6$

p.  $15 - 6 = 9$

q.  $14 - 7 = 7$

r.  $15 - 8 = 7$

s.  $13 - 5 = 8$

次の授業に向けて、153ページと155ページにあるたし算カードを切りましょう。

## 達成の目安：

4.2 縦にしたたし算とひき算の問題を解きましょう。

### 4.2 学んだ事やってみましょう

1. 縦に計算しましょう。

a.  $53 + 46$

	5	3
+	4	6
<hr/>		
	9	9

b.  $24 + 30$

	2	4
+	3	0
<hr/>		
	5	4

c.  $6 + 82$

		6
+	8	2
<hr/>		
	8	8

d.  $45 + 4$

	4	5
+		4
<hr/>		
	4	9

2. マスに入る数字を書きましょう。

a.

	3	2
+	2	4
<hr/>		
	5	6

b.

	2	2
+	7	4
<hr/>		
	9	6

c.

	5	2
+	2	6
<hr/>		
	7	8

d.

	4	8
+	2	1
<hr/>		
	6	9

3. 1番と2番を終えたら、1冊目にある切り取るカードでたし算を練習しましょう。

### 家で解いてみよう

1. 縦に計算しましょう。

a.  $13 + 42$

	1	3
+	4	2
<hr/>		
	5	5

b.  $50 + 26$

	5	0
+	2	6
<hr/>		
	7	6

c.  $43 + 5$

	4	3
+		5
<hr/>		
	4	8

d.  $5 + 24$

		5
+	2	4
<hr/>		
	2	9

2. マスに入る数字を書きましょう。

a.

	4	6
+	1	2
<hr/>		
	5	8

b.

	5	4
+	2	0
<hr/>		
	7	4

c.

	3	3
+	2	4
<hr/>		
	5	7

d.

	2	0
+	3	6
<hr/>		
	5	6

3. 1番と2番を終えたら、切り取るカードでたし算を練習しましょう。



次の授業に向けて、157ページと159ページにあるひき算カードを切りましょう。

達成の目安：

4.3 縦にしてひき算の問題を解きましょう。

4.3 学んだ事やってみましょう

1. 縦に計算しましょう。

a.  $76 - 42$

	7	6
-	4	2
<hr/>		
	3	4

b.  $35 - 13$

	3	5
-	1	3
<hr/>		
	2	2

c.  $64 - 21$

	6	4
-	2	1
<hr/>		
	4	3

d.  $98 - 67$

	9	8
-	6	7
<hr/>		
	3	1

2. マスに入る数字を書きましょう。

a.

	9	4
-	3	3
<hr/>		
	6	1

b.

	7	9
-	3	2
<hr/>		
	4	7

c.

	5	7
-	3	4
<hr/>		
	2	3

d.

	7	8
-	3	6
<hr/>		
	4	2

3. 1番と2番を終えたら、1冊目にある切り取るカードでひき算を練習しましょう。

家で解いてみよう

1. 縦に計算しましょう。

a.  $54 - 21$

	5	4
-	2	1
<hr/>		
	3	3

b.  $67 - 43$

	6	7
-	4	3
<hr/>		
	2	4

c.  $95 - 62$

	9	5
-	6	2
<hr/>		
	3	3

d.  $48 - 16$

	4	8
-	1	6
<hr/>		
	3	2

2. マスに入る数字を書きましょう。

a.

	7	6
-	3	4
<hr/>		
	4	2

b.

	8	6
-	3	3
<hr/>		
	5	3

c.

	9	7
-	2	2
<hr/>		
	7	5

d.

	6	8
-	4	5
<hr/>		
	2	3

3. 1番と2番を終えたら、切り取るカードでひき算を練習しましょう。

達成の目安：

4.4 繰り上げのある、そして繰り上げのないたし算の問題を解きましょう

4.4 学んだ事やってみましょう

計算しましょう。

a.  $46 + 38$

	+	-
	4	6
+	3	8
<hr/>		
	⑧	4

b.  $29 + 54$

	+	-
	2	9
+	5	4
<hr/>		
	⑧	3

c.  $37 + 23$

	+	-
	3	7
+	2	3
<hr/>		
	⑥	0

d.  $78 + 9$

	7	8
+		9
<hr/>		
	⑧	7

e.  $67 + 51$

	6	7
+	5	1
<hr/>		
1	1	8

f.  $83 + 26$

	8	3
+	2	6
<hr/>		
1	0	9

g.  $345 + 142$

	3	4	5
+	1	4	2
<hr/>			
	4	8	7

h.  $137 + 628$

	1	3	7
+	6	2	8
<hr/>			
	7	⑥	5

i.  $518 + 25$

	5	1	8
+		2	5
<hr/>			
	5	④	3

j.  $295 + 673$

	2	9	5
+	6	7	3
<hr/>			
	⑨	6	8

k.  $563 + 142$

	5	6	3
+	1	4	2
<hr/>			
	⑦	0	5

l.  $376 + 578$

	3	7	6
+	5	7	8
<hr/>			
	⑨	⑤	4

m.  $375 + 126$

	3	7	5
+	1	2	6
<hr/>			
	⑤	⑩	1

n.  $58 + 674$

		5	8
+	6	7	4
<hr/>			
	⑦	③	2

ñ.  $645 + 355$

	6	4	5
+	3	5	5
<hr/>			
1	⑩	⑩	0

# レッスン

# 4

## 家で解いてみよう

計算しましょう。

a.  $64 + 19$

	+	-
	6	4
+	1	9
<hr/>		
	8	3

b.  $35 + 48$

	+	-
	3	5
+	4	8
<hr/>		
	8	3

c.  $54 + 26$

	+	-
	5	4
+	2	6
<hr/>		
	8	0

d.  $7 + 89$

		7
+	8	9
<hr/>		
	9	6

e.  $98 + 41$

	9	8
+	4	1
<hr/>		
1	3	9

f.  $41 + 65$

	4	1
+	6	5
<hr/>		
1	0	6

g.  $561 + 314$

	5	6	1
+	3	1	4
<hr/>			
	8	7	5

h.  $258 + 317$

	2	5	8
+	3	1	7
<hr/>			
	5	7	5

i.  $36 + 617$

		3	6
+	6	1	7
<hr/>			
	6	5	3

j.  $432 + 195$

	4	3	2
+	1	9	5
<hr/>			
	6	2	7

k.  $654 + 253$

	6	5	4
+	2	5	3
<hr/>			
	9	0	7

l.  $147 + 485$

	1	4	7
+	4	8	5
<hr/>			
	6	3	2

m.  $234 + 467$

	2	3	4
+	4	6	7
<hr/>			
	7	0	1

n.  $496 + 8$

	4	9	6
+			8
<hr/>			
	5	0	4

ñ.  $257 + 743$

	2	5	7
+	7	4	3
<hr/>			
1	0	0	0

達成の目安：

4.5 繰り下げのある、そして繰り下げのないひき算の問題を解きましょう。

4.5 学んだ事やってみましょう

計算しましょう。

a.  $74 - 56$

	+	-
	<del>7</del> <sup>6</sup>	<del>4</del> <sup>①</sup>
-	5	6
<hr/>		
	1	8

b.  $83 - 54$

	+	-
	<del>8</del> <sup>7</sup>	<del>3</del> <sup>①</sup>
-	5	4
<hr/>		
	2	9

c.  $90 - 48$

	+	-
	<del>9</del> <sup>8</sup>	<del>0</del> <sup>①</sup>
-	4	8
<hr/>		
	4	2

d.  $64 - 58$

	<del>6</del> <sup>5</sup>	<del>4</del> <sup>①</sup>
-	5	8
<hr/>		
		6

e.  $57 - 9$

	<del>5</del> <sup>4</sup>	<del>7</del> <sup>①</sup>
-		9
<hr/>		
	4	8

f.  $40 - 7$

	<del>4</del> <sup>3</sup>	<del>0</del> <sup>①</sup>
-		7
<hr/>		
	3	3

g.  $987 - 364$

	9	8	7
-	3	6	4
<hr/>			
	6	2	3

h.  $746 - 519$

	7	<del>4</del> <sup>3</sup>	<del>6</del> <sup>①</sup>
-	5	1	9
<hr/>			
	2	2	7

i.  $865 - 38$

	8	<del>6</del> <sup>5</sup>	<del>5</del> <sup>①</sup>
-		3	8
<hr/>			
	8	2	7

j.  $628 - 372$

	<del>6</del> <sup>5</sup>	<del>2</del> <sup>①</sup>	8
-	3	7	2
<hr/>			
	2	5	6

k.  $845 - 62$

	<del>8</del> <sup>7</sup>	<del>4</del> <sup>①</sup>	5
-		6	2
<hr/>			
	7	8	3

l.  $835 - 657$

	<del>8</del> <sup>7</sup>	<del>3</del> <sup>①</sup>	<del>5</del> <sup>②</sup>
-	6	5	7
<hr/>			
	1	7	8

m.  $754 - 89$

	<del>7</del> <sup>6</sup>	<del>5</del> <sup>①</sup>	<del>4</del> <sup>①</sup>
-		8	9
<hr/>			
	6	6	5

n.  $415 - 268$

	<del>4</del> <sup>3</sup>	<del>1</del> <sup>①</sup>	<del>5</del> <sup>①</sup>
-	2	6	8
<hr/>			
	1	4	7

ñ.  $302 - 178$

	<del>3</del> <sup>2</sup>	<del>0</del> <sup>①</sup>	<del>2</del> <sup>①</sup>
-	1	7	8
<hr/>			
	1	2	4

# レッスン

# 4

## 家で解いてみよう

計算しましょう。

a.  $63 - 25$

	+	-
	5	①
	<del>6</del>	3
-	2	5
<hr/>		
	3	8

b.  $53 - 38$

	+	-
	4	①
	<del>5</del>	3
-	3	8
<hr/>		
	1	5

c.  $60 - 19$

	+	-
	5	①
	<del>6</del>	0
-	1	9
<hr/>		
	4	1

d.  $76 - 69$

	6	①
	<del>7</del>	6
-	6	9
<hr/>		
		7

e.  $43 - 8$

	3	①
	<del>4</del>	3
-		8
<hr/>		
	3	5

f.  $50 - 8$

	4	①
	<del>5</del>	0
-		8
<hr/>		
	4	2

g.  $765 - 342$

	7	6	5
-	3	4	2
<hr/>			
	4	2	3

h.  $482 - 137$

	4	7	①
	<del>4</del>	<del>8</del>	2
-	1	3	7
<hr/>			
	3	4	5

i.  $673 - 29$

	6	6	①
	<del>6</del>	<del>7</del>	3
-		2	9
<hr/>			
	6	4	4

j.  $849 - 483$

	7	①	
	<del>8</del>	4	9
-	4	8	3
<hr/>			
	3	6	6

k.  $516 - 73$

	4	①	
	<del>5</del>	1	6
-		7	3
<hr/>			
	4	4	3

l.  $525 - 369$

	4	①	①
	<del>5</del>	2	5
-	3	6	9
<hr/>			
	1	5	6

m.  $937 - 68$

	8	①	②	①
	<del>9</del>	<del>3</del>	7	
-		6	8	
<hr/>				
	8	6	9	

n.  $713 - 85$

	6	①	①
	<del>7</del>	<del>1</del>	3
-		8	5
<hr/>			
	6	2	8

ñ.  $405 - 267$

	3	①	②	①
	<del>4</del>	<del>0</del>	5	
-	2	6	7	
<hr/>				
	1	3	8	



達成の目安：

4.6 九九の2、3、4と5の段の表を使って問題を解きましょう。

4.6 学んだ事やってみましょう

1. 計算しましょう。

a.  $2 \times 4 = 8$

b.  $2 \times 7 = 14$

c.  $2 \times 3 = 6$

d.  $2 \times 6 = 12$

e.  $2 \times 8 = 16$

f.  $2 \times 5 = 10$

g.  $2 \times 2 = 4$

h.  $2 \times 9 = 18$

i.  $2 \times 1 = 2$

2. 計算しましょう。

a.  $3 \times 6 = 18$

b.  $3 \times 9 = 27$

c.  $3 \times 1 = 3$

d.  $3 \times 2 = 6$

e.  $3 \times 4 = 12$

f.  $3 \times 7 = 21$

g.  $3 \times 3 = 9$

h.  $3 \times 5 = 15$

i.  $3 \times 8 = 24$

3. 計算しましょう。

a.  $4 \times 7 = 28$

b.  $4 \times 4 = 16$

c.  $4 \times 2 = 8$

d.  $4 \times 9 = 36$

e.  $4 \times 5 = 20$

f.  $4 \times 3 = 12$

g.  $4 \times 1 = 4$

h.  $4 \times 6 = 24$

i.  $4 \times 8 = 32$

4. 計算しましょう。

a.  $5 \times 1 = 5$

b.  $5 \times 9 = 45$

c.  $5 \times 2 = 10$

d.  $5 \times 8 = 40$

e.  $5 \times 3 = 15$

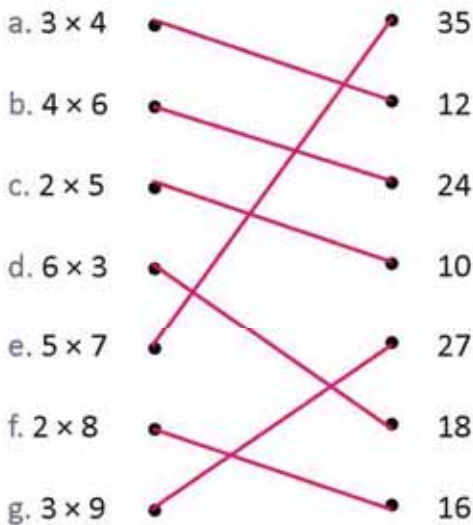
f.  $5 \times 7 = 35$

g.  $5 \times 4 = 20$

h.  $5 \times 6 = 30$

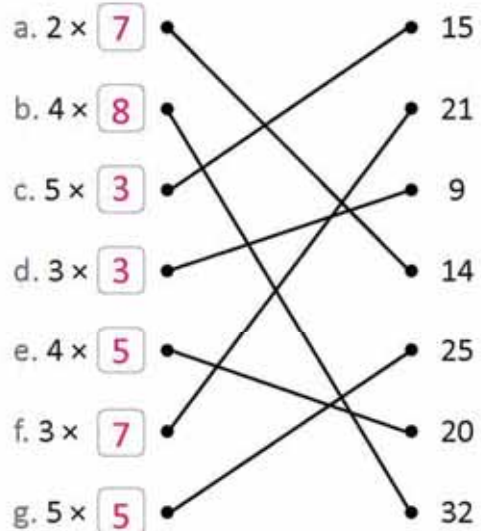
i.  $5 \times 5 = 25$

5. 定規を使ってそれぞれのかけ算を結果と結びつけます。



★やってみよう

空欄を埋めます。



## 家で解いてみよう

1. 計算しましょう。

a.  $2 \times 6 = 12$

d.  $2 \times 2 = 4$

g.  $2 \times 3 = 6$

2. 計算しましょう。

a.  $3 \times 1 = 3$

d.  $3 \times 8 = 24$

g.  $3 \times 4 = 12$

3. 計算しましょう。

a.  $4 \times 3 = 12$

d.  $4 \times 2 = 8$

g.  $4 \times 8 = 32$

4. 計算しましょう。

a.  $5 \times 7 = 35$

d.  $5 \times 9 = 45$

g.  $5 \times 1 = 5$

b.  $2 \times 9 = 18$

e.  $2 \times 4 = 8$

h.  $2 \times 5 = 10$

b.  $3 \times 9 = 27$

e.  $3 \times 3 = 9$

h.  $3 \times 6 = 18$

b.  $4 \times 4 = 16$

e.  $4 \times 1 = 4$

h.  $4 \times 6 = 24$

b.  $5 \times 4 = 20$

e.  $5 \times 5 = 25$

h.  $5 \times 6 = 30$

c.  $2 \times 1 = 2$

f.  $2 \times 7 = 14$

i.  $2 \times 8 = 16$

c.  $3 \times 2 = 6$

f.  $3 \times 7 = 21$

i.  $3 \times 5 = 15$

c.  $4 \times 7 = 28$

f.  $4 \times 5 = 20$

i.  $4 \times 9 = 36$

c.  $5 \times 2 = 10$

f.  $5 \times 3 = 15$

i.  $5 \times 8 = 40$

5. 定規を使ってそれぞれのかけ算の結果と結びつけます。

a.  $2 \times 4$   8

b.  $3 \times 7$   4

c.  $4 \times 1$   15

d.  $5 \times 6$   18

e.  $5 \times 3$   9

f.  $3 \times 3$   21

g.  $2 \times 9$   30

★やってみよう

空欄を埋めます。

a.  $4 \times$    15

b.  $5 \times$    16

c.  $3 \times$    2

d.  $2 \times$    10

e.  $4 \times$    28

f.  $5 \times$    12

g.  $2 \times$    45

達成の目安：

4.7 九九の6、7、8と9の段の表を使って問題を解きましょう。

4.7 学んだ事やってみましょう

1. 計算しましょう。

a.  $6 \times 4 = 24$

b.  $6 \times 7 = 42$

c.  $6 \times 3 = 18$

d.  $6 \times 6 = 36$

e.  $6 \times 8 = 48$

f.  $6 \times 5 = 30$

g.  $6 \times 2 = 12$

h.  $6 \times 9 = 54$

i.  $6 \times 1 = 6$

2. 計算しましょう。

a.  $7 \times 6 = 42$

b.  $7 \times 9 = 63$

c.  $7 \times 1 = 7$

d.  $7 \times 2 = 14$

e.  $7 \times 4 = 28$

f.  $7 \times 7 = 49$

g.  $7 \times 3 = 21$

h.  $7 \times 5 = 35$

i.  $7 \times 8 = 56$

3. 計算しましょう。

a.  $8 \times 7 = 56$

b.  $8 \times 4 = 32$

c.  $8 \times 2 = 16$

d.  $8 \times 9 = 72$

e.  $8 \times 5 = 40$

f.  $8 \times 3 = 24$

g.  $8 \times 1 = 8$

h.  $8 \times 6 = 48$

i.  $8 \times 8 = 64$

4. 計算しましょう。

a.  $9 \times 1 = 9$

b.  $9 \times 9 = 81$

c.  $9 \times 2 = 18$

d.  $9 \times 8 = 72$

e.  $9 \times 3 = 27$

f.  $9 \times 7 = 63$

g.  $9 \times 4 = 36$

h.  $9 \times 6 = 54$

i.  $9 \times 5 = 45$

5. 定規を使ってそれぞれのかけ算の結果と結びつけます。

a. $6 \times 4$	●	●	48
b. $8 \times 6$	●	●	27
c. $7 \times 5$	●	●	24
d. $9 \times 3$	●	●	35
e. $7 \times 7$	●	●	49
f. $6 \times 8$	●	●	48
g. $8 \times 9$	●	●	72

★やってみよう

空欄を埋めます。

a. $6 \times$	6	●	●	18
b. $7 \times$	3	●	●	56
c. $9 \times$	2	●	●	9
d. $8 \times$	4	●	●	12
e. $7 \times$	8	●	●	21
f. $6 \times$	2	●	●	36
g. $9 \times$	1	●	●	32

## 家で解いてみよう

1. 計算しましょう。

a.  $6 \times 1 = 6$

d.  $6 \times 8 = 48$

g.  $6 \times 4 = 24$

b.  $6 \times 9 = 54$

e.  $6 \times 3 = 18$

h.  $6 \times 6 = 36$

c.  $6 \times 2 = 12$

f.  $6 \times 7 = 42$

i.  $6 \times 5 = 30$

2. 計算しましょう。

a.  $7 \times 3 = 21$

d.  $7 \times 2 = 14$

g.  $7 \times 8 = 56$

b.  $7 \times 4 = 28$

e.  $7 \times 1 = 7$

h.  $7 \times 6 = 42$

c.  $7 \times 7 = 49$

f.  $7 \times 5 = 35$

i.  $7 \times 9 = 63$

3. 計算しましょう。

a.  $8 \times 7 = 56$

d.  $8 \times 9 = 72$

g.  $8 \times 1 = 8$

b.  $8 \times 4 = 32$

e.  $8 \times 5 = 40$

h.  $8 \times 6 = 48$

c.  $8 \times 2 = 16$

f.  $8 \times 3 = 24$

i.  $8 \times 8 = 64$

4. 計算しましょう。

a.  $9 \times 6 = 54$

d.  $9 \times 2 = 18$

g.  $9 \times 3 = 27$

b.  $9 \times 9 = 81$

e.  $9 \times 4 = 36$

h.  $9 \times 5 = 45$

c.  $9 \times 1 = 9$

f.  $9 \times 7 = 63$

i.  $9 \times 8 = 72$

5. 定規を使ってそれぞれのかけ算の結果と結びつけます。

a. $7 \times 4$	●	●	54
b. $8 \times 7$	●	●	6
c. $6 \times 1$	●	●	63
d. $9 \times 6$	●	●	45
e. $8 \times 2$	●	●	28
f. $7 \times 9$	●	●	56
g. $9 \times 5$	●	●	16

★やってみよう

空欄を埋めます。

a. $9 \times$	9	●	●	7
b. $6 \times$	5	●	●	63
c. $7 \times$	1	●	●	40
d. $8 \times$	3	●	●	81
e. $9 \times$	7	●	●	42
f. $6 \times$	7	●	●	24
g. $8 \times$	5	●	●	30

達成の目安：

4.8 1から10の段までの九九表に積を書き込む。

### 4.8 学んだ事やってみましょう

表を完成させましょう。

a.

×	4	8	7	2	3	1	5	9	6
1	4	8	7	2	3	1	5	9	6
6	24	48	42	12	18	6	30	54	36
5	20	40	35	10	15	5	25	45	30
9	36	72	63	18	27	9	45	81	54
8	32	64	56	16	24	8	40	72	48
4	16	32	28	8	12	4	20	36	24

b.

×	8	3	4	1	6	9	7	2	5
1	8	3	4	1	6	9	7	2	5
3	24	9	12	3	18	27	21	6	15
6	48	18	24	6	36	54	42	12	30
7	56	21	28	7	42	63	49	14	35
9	72	27	36	9	54	81	63	18	45
2	16	6	8	2	12	18	14	4	10

## 家で解いてみよう

表を完成させましょう。

a.

×	8	3	6	2	4	1	5	9	7
2	16	6	12	4	8	2	10	18	14
3	24	9	18	6	12	3	15	27	21
4	32	12	24	8	16	4	20	36	28
7	56	21	42	14	28	7	35	63	49
10	80	30	60	20	40	10	50	90	70
6	48	18	36	12	24	6	30	54	42

b.

×	9	3	6	9	5	1	2	4	7
2	18	6	12	18	10	2	4	8	14
4	36	12	24	36	20	4	8	16	28
5	45	15	30	45	25	5	10	20	35
8	72	24	48	72	40	8	16	32	56
10	90	30	60	90	50	10	20	40	70
7	63	21	42	63	35	7	14	28	49

達成の目安：

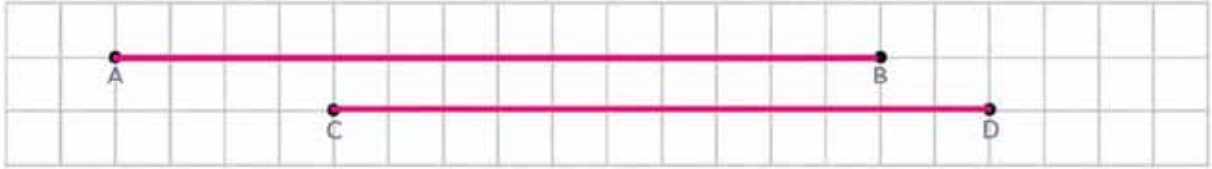
4.9 線分の長さの問題を解きましょう。

4.9 学んだことをやってみましょう

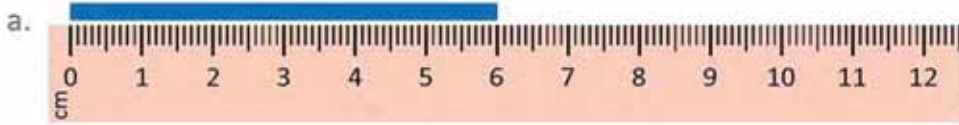
1. 指示された線分を描きましょう。

a. 線分AB

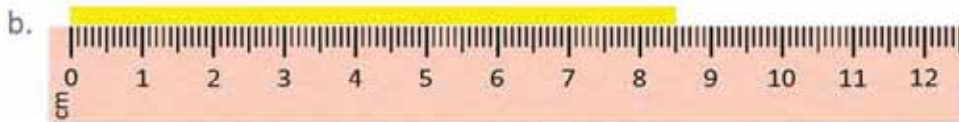
b. 線分CD



2. 以下のひもを測りましょう。



答え：6 cm.



答え：8 cm 5 mm.

3. 長さが7 cm 5 mmの直線の線分を引きましょう。

起点



家で解いてみよう

1. 式を書き、次のカラーひもの長さを測りましょう。



式：3 cm + 5 cm

答え：8 cm.



式：4 cm 2 mm + 5 cm 4 mm

答え：9 cm 6 mm.

2. 示された形で切った後の、それぞれのひもの長さはどれだけですか？



式：5 cm - 2 cm

答え：3 cm.



式：12 cm 4 mm - 2 cm 3 mm

答え：10 cm 1 mm.





























